

上三川町地域公共交通計画への改訂内容

標題「上三川町地域公共交通網形成計画」を「上三川町地域公共交通計画」に改める。

1 P「はじめに」に「1-2. 地域公共交通計画への改正の背景と目的」を追加し、地域公共交通計画の策定が努力義務化したことに伴う改訂の経緯等を記載した。

2 1 P 「上三川町内の公共交通空白地帯」に次の記載を追加した。

- (1) 広域幹線（鉄道）及び地域内幹線（民間バス路線）の位置づけ
- (2) デマンド交通導入の効果について
- (3) ゆうがおバス石橋－獨協線について

3 7 P 「計画事業1 デマンド交通運行形態の再検討」に次の記載を追加した。

- (1) 家族形態の変容に伴う土曜日運行等の検討
- (2) デマンド交通についての記載

3 8 P 計画事業3が、「地域コミュニティにおける公共交通の意識醸成」であったのを、多様な交通モードを幅広く検討できる「多様な交通モード・輸送資源の総動員の検討」に改め、コンパクト・プラス・ネットワークの実現に向けた事業と位置付けるとともに、具体的な取り組み内容を記載した。

上三川町地域公共交通計画

~~上三川町地域公共交通網形成計画~~

平成30年8月

(2018年8月)

令和4(2022)年6月改訂

上三川町

目次

1	はじめに.....	1
1-1.	計画策定の背景と目的.....	1
1-2.	地域公共交通計画への改正の背景と目的.....	1
1-3.	上位関連計画.....	2
	(1) 上三川町第7次総合計画.....	2
	(2) 上三川町都市計画マスタープラン.....	4
2	上三川町の公共交通の現状.....	5
2-1.	町の概況.....	5
2-2.	人口.....	6
	(1) 人口の推移.....	6
	(2) 人口の分布.....	7
	(3) 通勤・通学流動（15歳以上就業者及び15歳未満通学者を含む通学者）.....	8
	(4) 自動車・バイク保有状況.....	9
2-3.	施設.....	10
	(1) 公共施設.....	10
	(2) 医療機関.....	10
	(3) 観光施設.....	11
2-4.	交通の現状.....	12
	(1) 交通手段別の利用者の割合.....	12
	(2) 路線バスの現況.....	13
	(3) 鉄道の現況.....	15
	(4) タクシーの現況.....	16
	(5) デマンド交通の現況.....	16
2-5.	上三川町内の公共交通空白地帯.....	21
3	地域公共交通の利用実態.....	23
3-1.	町民アンケート.....	23
	(1) 回答者の属性.....	23
	(2) 鉄道.....	25
	(3) バス.....	26
	(4) デマンド交通.....	27
	(5) 満足度.....	28
	(6) よりよい公共交通にするために必要なもの.....	30

(7) 免許証返納者数.....	31
3-2. 事業者からの意見.....	32
(1) 医療機関.....	32
(2) 福祉施設.....	32
(3) 大型工場.....	32
4 地域公共交通の課題.....	33
4-1. 町民の日常生活の利便性の確保.....	33
4-2. 観光交流地域公共交通の確保.....	33
4-3. 高齢者ニーズを踏まえた地域公共交通の見直し.....	33
4-4. 地域公共交通の効率的な運行.....	33
4-5. 地域公共交通に対する関心と地域を挙げた取組の確保.....	33
5 上三川町地域公共交通網形成計画の基本方針.....	34
5-1. 計画期間.....	34
5-2. 計画区域.....	34
5-3. 基本方針.....	34
5-4. 計画目標.....	34
6 計画目標と計画事業.....	35
6-1. 計画目標.....	35
6-2. 計画事業.....	37
7 計画の推進.....	41
7-1. 計画の推進体制.....	41
7-2. 計画の達成状況の評価.....	41
8 参考資料.....	42
8-1. 町民アンケート.....	42

1 はじめに

1-1. 計画策定の背景と目的

上三川町内の公共交通は、町の西部にJR宇都宮線が南北に通り、町境付近で石橋駅に隣接しています。民間運行路線バスでは、石橋駅西口から真岡市中心部を結ぶ町内を東西に繋ぐ路線、北部は宇都宮市の駒生営業所から宇都宮駅を経由し、上三川町北部から中心部を繋ぐ路線が運行しています。

上三川町では、平成20年3月から巡回バスの運行を開始し、町内を4つの地域に分割し「本郷線」、「上三川線」、「明治北線」、「明治南線」の4路線で、路線ごとに1日3便を運行していました。しかし、巡回バスの利用者数が低迷し、地域公共交通のあり方として町民の理解を得ることが難しく、地域公共交通の総合的な見直しが求められました。こうした中、平成23年10月に「上三川町公共交通のあり方検討委員会」の報告をもとに、町民のニーズや意見に十分に配慮しながら、今後の上三川町における地域公共交通のあり方を示す「上三川町地域公共交通整備計画」を平成24年2月に策定しました。高齢社会に対応し、町内の路線バスの停留所や巡回バスの運行経路から離れた交通不便地域の住民の移動手段を確保するため、町内全域ドア to ドア(戸口から戸口)方式のフルデマンド交通「かみたん号」が平成25年3月からの実証運行期間を経て、平成28年4月から本格運行となりました。

第7次総合計画前期基本計画及び上三川町都市計画マスタープランにおいては、機能的な道路網の形成や便利な公共交通機関の充実により、誰もが容易に移動できる環境を整え、本町の魅力や暮らしやすさをさらに高める環境づくりを推進する方針を定めました。

国は、急速な高齢化や人口減少を背景として、平成25年12月に「交通政策基本法」を施行し、住民の移動の確保に関して、国や地方公共団体、交通事業者などの役割を明らかにしました。また、平成26年11月には、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、地方公共団体を中心となり、まちづくりや観光振興等の地域戦略と連携しながら、地域における主体的な取り組み及び創意工夫により持続可能な地域公共交通網を形成し、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を推進することとされました。

これらの状況を踏まえ、町は期待される役割を発揮する地域公共交通の実現を目指し、利便性と効率性の向上による持続可能な地域公共交通網の再構築に取り組むことを目的として、「上三川町地域公共交通網形成計画」を策定します。

1-2. 地域公共交通計画への改正の背景と目的

令和2(2020)年11月に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」により「地域公共交通計画」の策定が努力義務化されたことに伴い、令和3(2021)年度の中間評価及び必要な見直しを経て、「上三川町地域公共交通計画」と改訂しました。

4-2-1-3. 上位関連計画

(1) 上三川町第7次総合計画

上三川町第7次総合計画(前期基本計画)では、「基本目標4“交通・交流・連携”のまちづくり」の一環として、「機能的な道路網の形成や便利な公共交通機関の充実」と位置づけており、誰もが容易に移動できる環境を整える必要性を明記しています。

また、基本計画では、単位施策として公共交通の充実を掲げ、「路線バスの維持・確保」や「デマンド交通の充実」により高齢社会の進展を見据えた、自家用車での移動が困難な方たちの足として利用しやすい環境づくりを位置づけています。

1. 上三川町の将来像

これまでのまちづくりを継承していく上で大切な考え方となる基本理念や、これからの10年を展望した本町が目指すべき将来像を以下の通り設定します。

1 基本理念



2 町の将来像

共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち 上三川

とも つく “共に創る”とは

本町の活発なまちづくり活動の主体として活躍する、様々なコミュニティやボランティア団体等との交流・連携を深め、継続的な取り組みを相互に支えながら実施していくことで、行政と町民が共に考え共に行動する、協働と参画のまちづくり環境が形成されます。

じだい かがや “次代に輝く”とは

本町の持続的な成長を図るための布石として、これまでの豊かさを支えてきた自然や産業、住環境など、地域の宝ともいえる様々な資源を磨き上げることで、まちづくりの効果が次世代において発現し、いつまでも住み続けることのできる魅力にあふれた環境が形成されます。

あんしん かつりよく “安心・活力のまち”とは

定住の場・就業の場としての本町の性格を基本としつつ、人口減少の抑制や町民の暮らしに対する満足度の向上が図られるよう、高齢化への対応や子育ての支援、災害対策、しごとの場の確保などに取り組むことで、誰もが安心して暮らすことのできる活力に満ちた環境が形成されます。

2. 基本目標

‘安心’や‘活力’の魅力に映える町の将来像の実現に向けて、第7次総合計画のまちづくりの方向性を示す8つの基本目標を以下のとおり設定します。

- 1 “安心安全・定住”のまちづくり
- 2 “子ども・健康・福祉”のまちづくり
- 3 “産業・しごと・活力”のまちづくり
- 4 “交通・交流・連携”のまちづくり
- 5 “人・文化・スポーツ”のまちづくり
- 6 “自然・環境”のまちづくり
- 7 “コミュニティ・地域力”のまちづくり
- 8 “協働・健全財政”のまちづくり

出典「上三川町第7次総合計画」（平成28年3月）

【町民意識】

まちづくりアンケートからみる町民意識において、「公共交通機関の状況」は全ての項目の中で、最も満足度が低く、重要度では高い分類に入っています。また、今後特に力を入れるべき施策としてデマンド交通「かみたん号」の充実が上位に入っています。

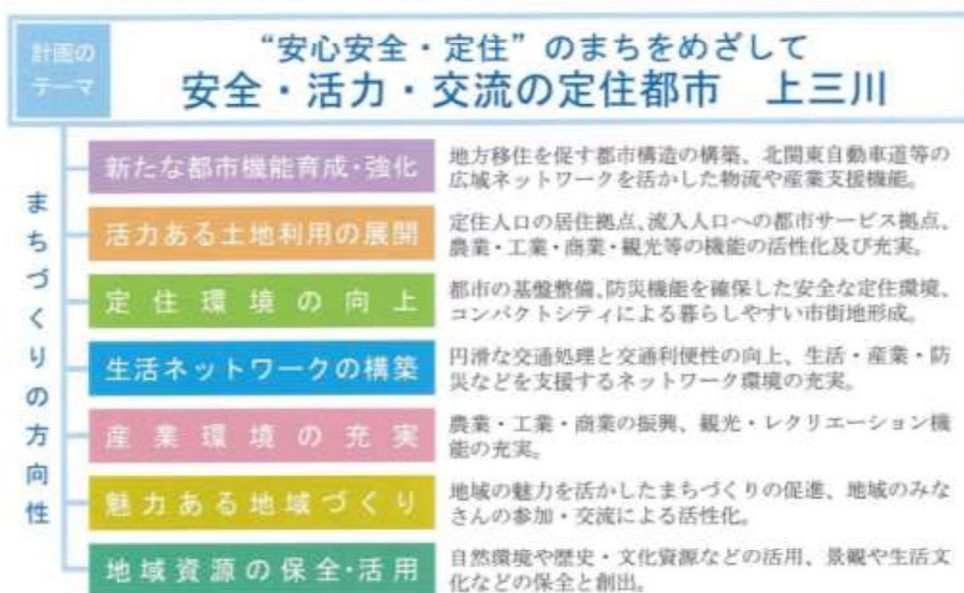
(2) 上三川町都市計画マスタープラン

上三川町都市計画マスタープランでは、“安心安全・定住”のまちをめざして「安全・活力・交流の定住都市 上三川」の計画テーマのもと、『交通体系の骨格づくり』をサブテーマに掲げ、①広域的ネットワークの形成、②拠点地区・地域のネットワークの形成、③誰もが移動しやすい公共交通環境の向上を図ることを基本的な展開の方向性として位置づけています。

まちづくりの基本方針

定住環境や活力・魅力の向上を目標としたまちづくりを進めます。

計画のテーマとして目指すべき都市像を設定し、その実現に向けたまちづくりの方向性と、都市構造を構成する“土地利用”“交通体系”“水と緑”の骨格を形成するための方針を示します。



土地利用の骨格づくり

市街化区域においては定住や産業等の都市機能の充実を図ります。

また、富士山地区、願成寺地区、西浦・富士見台地区などの市街地整備、石田地区南部における“新産業拠点”などの新たな拠点づくりや、新4号国道沿道などにおける適正な土地利用の誘導などを進めます。

自然、田園環境、景観の保全と魅力づくりにも配慮し、バランスのとれた土地利用を進めます。

交通体系の骨格づくり

北関東自動車道、新4号国道、JR宇都宮線などによる広域のネットワーク形成と、生活や産業などの軸となる交通網の充実、構想路線の整備などを進めます。

また、誰もが移動しやすい環境づくりのため、公共交通の充実を図ります。

水と緑の骨格づくり

鬼怒川等の河川環境、公園、歴史資源などを活かした魅力づくりを図ります。

こうした資源をめぐる緑のネットワークや中心市街地の回遊ルートづくりについても取組み、定住の場としての魅力の向上を図ります。

2 上三川町の公共交通の現状

2-1. 町の概況

上三川町は、栃木県南東部で鬼怒川の右岸、首都東京から約90kmの距離に位置し、東西約8km、南北約11km、総面積54.39km²のほぼ平坦な地形により構成され、東は真岡市、西と南は下野市、北は県都宇都宮市の3市と接しています。

町の中央を南北に貫く新4号国道は、首都圏から東北までを結ぶ主要道路として昭和50年に一部完成し、平成25年に栃木県内が全線6車線化されました。また、町北部には、北関東3県を東西に結び、東北自動車道などを經由し首都圏を始め全国にアクセスが可能な北関東自動車道が横断し、新4号国道と交差する宇都宮上三川ICが最寄りのICとなっています。

本町は、町内に鉄道駅を有していませんが、西部でJR東北本線(宇都宮線)石橋駅と接しており、通勤・通学客を始め、多くの町民の交通手段として利用されています。



図1 上三川町の概況図

2-2. 人口

(1) 人口の推移

人口は平成22年の31,618人をピークに減少傾向にあり、平成27年は31,046人となっております。今後もこの傾向が続いた場合、20年後の平成47年(2035年)には高齢化率が30%を超え、45年後の平成72年(2060年)には、人口が25,000人を下回る見込みとなっております。

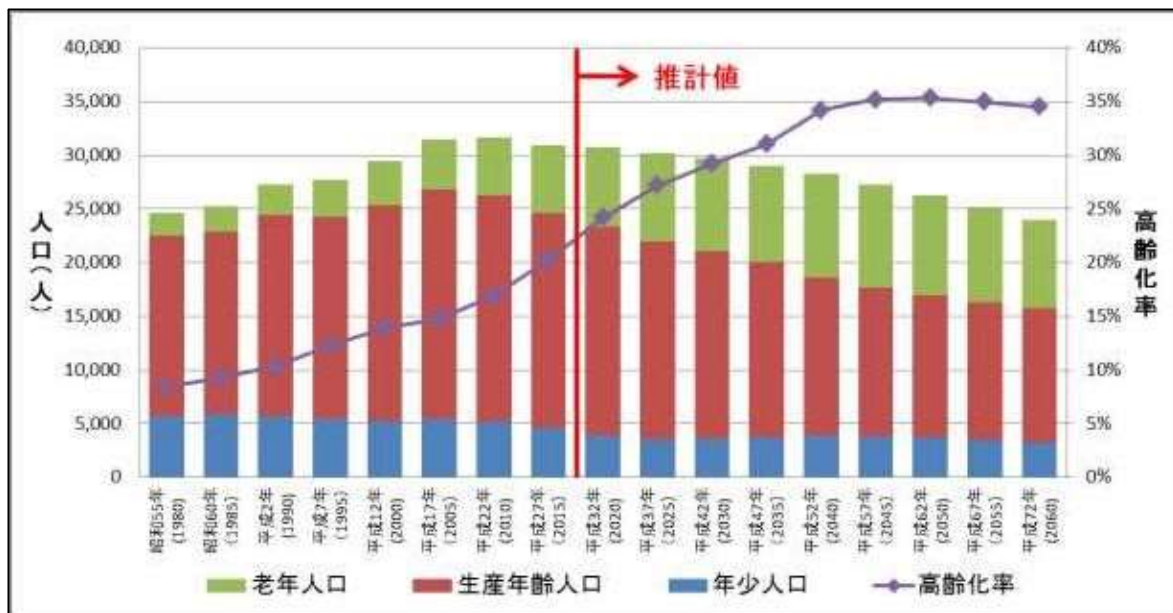


図2-1 年齢構成別の人口推移と推計

出典「上三川町人口ビジョン」・「平成27年国勢調査結果」(総務省統計局)を元に作成

(2) 人口の分布

上三川町の中心部、西部の石橋駅周辺、ゆうきが丘団地、北部の本郷団地に人口が集中しています。高齢者の分布もほぼ同様ですが、ゆうきが丘団地と比較すると本郷団地の方が、高齢化が進んでいることが分かります。

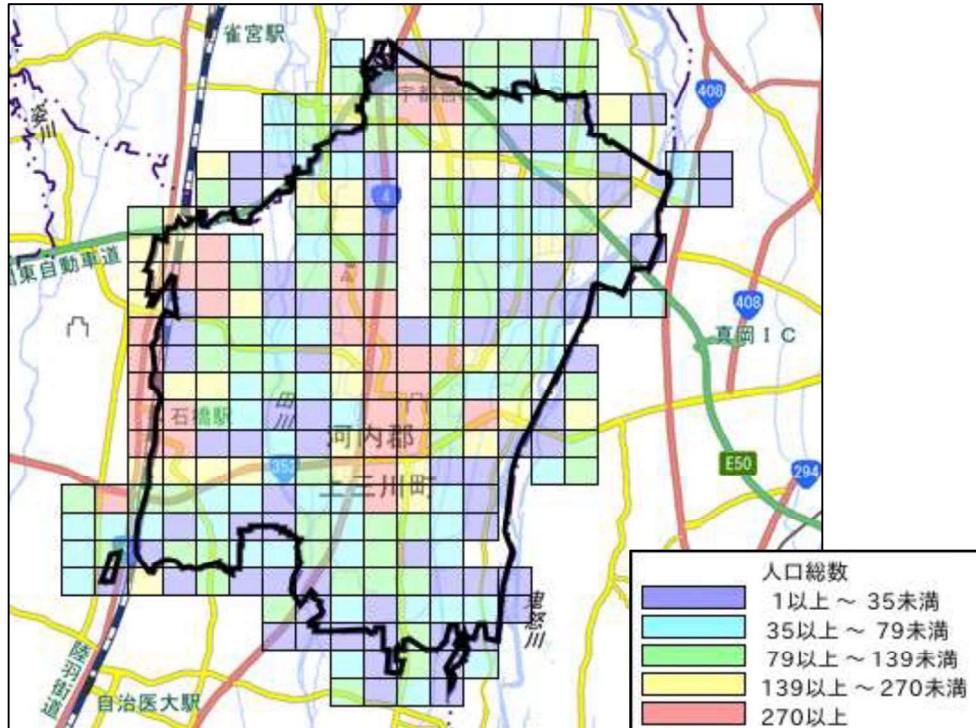


図2-2 人口分布

出典「平成27年国勢調査結果」(総務省統計局)を元に作成

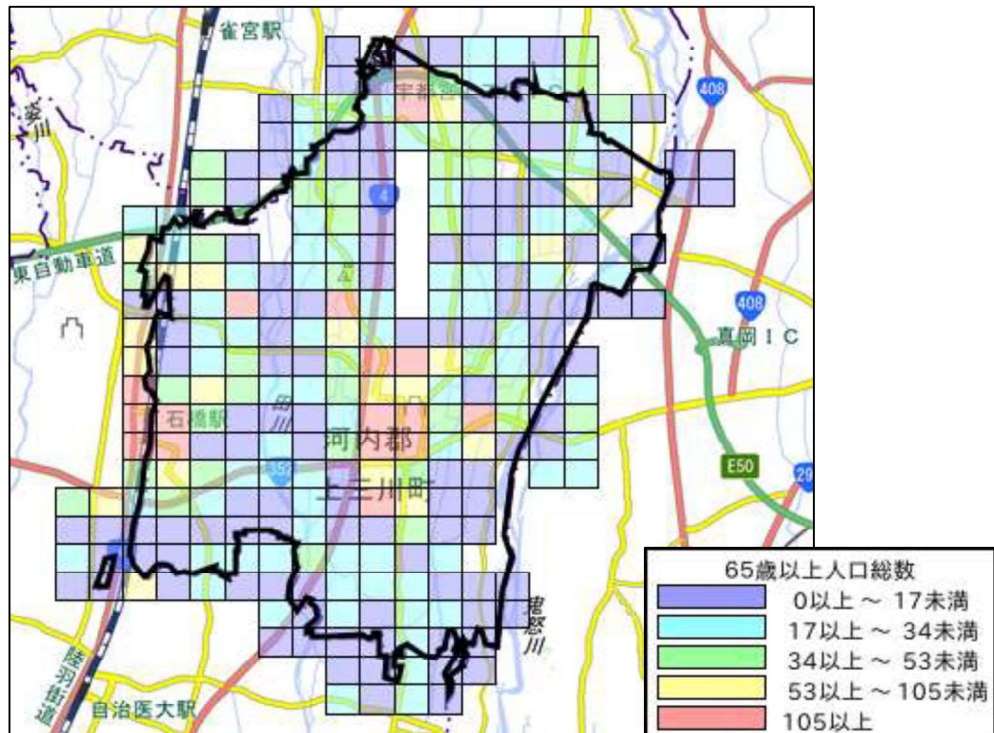


図2-3 65歳以上人口分布

出典「平成27年国勢調査結果」(総務省統計局)を元に作成

(3) 通勤・通学流動（15歳以上就業者及び15歳未満通学者を含む通学者）

【流入人口・流出人口】

	流入人口			流出人口		
	総数	就業者数	通学者数	総数	就業者数	通学者数
総数	10,323	9,948	375	10,187	8,952	1,235
宇都宮市	3,215	3,151	64	4,442	3,856	586
下野市	1,943	1,835	108	1,317	1,233	84
真岡市	1,438	1,392	46	1,232	1,079	153
小山市	783	711	72	848	706	142
壬生町	546	539	7	367	346	21
栃木市	338	333	5	245	221	24
鹿沼市	230	224	6	164	163	1
その他	1,830	1,763	67	1,572	1,348	224

【昼間人口】

昼間人口は31,233人、夜間人口は31,046人で、昼夜間人口比率は100.6%となり、主に町外へ通勤する人口よりも他の地域から上三川町へ通勤する人口のほうが多くなっています。

語句説明

「流出人口」：上三川町に常在し、上三川町以外へ通勤・通学する人口

「流入人口」：上三川町以外に常在し、上三川町へ通勤・通学する人口

「昼間人口」：『上三川町の常在人口－上三川町からの流出人口＋上三川町への流入人口』

「夜間人口」：調査時期に上三川町に常在している人口

「昼夜間人口比率」：『上三川町の昼間人口÷上三川町の夜間人口』



図2-4 流入人口



図2-5 流出人口

出典「平成27年国勢調査結果」（総務省統計局）を元に作成

(4) 自動車・バイク保有状況

自動車（乗用車）の保有台数は年々増加傾向にあり、世帯当たり保有台数も増加しています。また、乗用車の中でも軽自動車の台数が増加している傾向にあり、平成12年度と平成27年度を比較すると約2倍に増えています。

バイクの保有台数は減少傾向にあり、1人当たり保有台数は僅かに減少しています。平成12年度と平成27年度の内訳を見てみると、原付自転車の保有数は減少していますが、小型二輪・自動二輪の保有数は増加しています。



図2-6 自動車（乗用車）の保有状況

出典「平成27年国勢調査結果」(総務省統計局)・上三川町統計書(平成28年度)を元に作成



図2-7 バイクの保有状況

出典「平成27年国勢調査結果」(総務省統計局)・上三川町統計書(平成28年度)を元に作成

2-3. 施設

(1) 公共施設

上三川町の中心部である役場の付近に多くの施設が設置されています。



図3-1 町内公共施設位置図 出典：上三川町公共施設等白書（H28.6）

(2) 医療機関

上三川町の中心部である役場の付近や国道や県道など主要な道路沿いに多く設置されています。



図3-2 町内医療機関位置図 出典：上三川町健康カレンダー

(3) 観光施設

観光施設は、上三川町の中心部である役場付近をはじめ、北西部には上神主・茂原官衙遺跡、南部の田川沿いには桜堤、東部には鬼怒川沿いの蓼沼緑地・親水公園、桃畑緑地公園など町内全域に位置しています。



図3-3 町内観光施設位置図 出典：上三川町 町勢要覧 2016 (H28.3)

2-4. 交通の現状

(1) 交通手段別の利用者の割合

町民アンケートの結果によると、目的地に向かう際に自家用車（自分で運転する車、家族等が運転する車）を利用する割合は81.9%となり、移動には自家用車を最も利用していることが分かります。また、公共交通機関を利用する割合は鉄道3.2%、路線バス1.2%、タクシー1.2%、デマンド交通1.6%で合計7.2%となり、自家用車に比べ利用率が低いことが分かります。

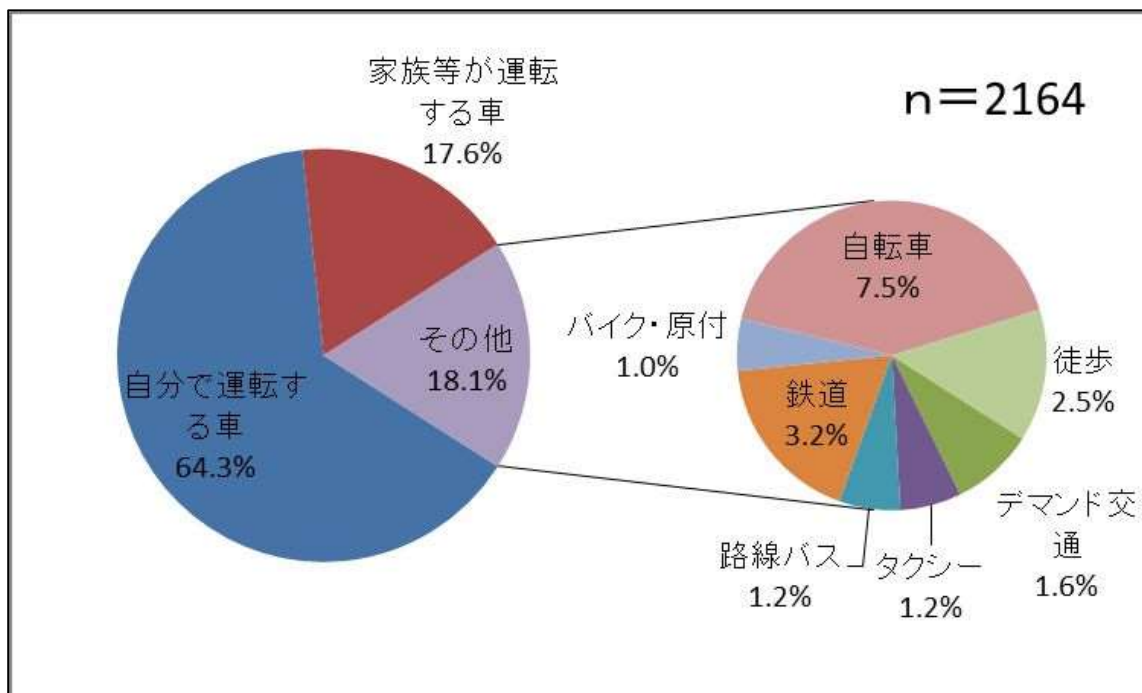


図4-1 目的地に向かう際に利用する交通手段の割合

出典「上三川町地域公共交通アンケート調査」（平成30年2月）を元に作成

(2) 路線バスの現況

系統名	課題・状況等
石橋駅・真岡車庫線	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人員は、堅調に推移しています。朝夕における定時性の確保が課題となっています。 ・運行時間帯を拡げてほしいとの要望を受けています。
駒生～屋根～ 上三川車庫線	<ul style="list-style-type: none"> ・補助系統であり、収支改善が求められています。(路線維持が課題となっています。) ・朝夕における定時性の確保が運行上の課題となっています。
駒生～FKD～ 上三川車庫線	<ul style="list-style-type: none"> ・補助系統であり、収支改善が求められています。(路線維持が課題となっています。) ・定時性の確保(特に休日のインタパーク渋滞による遅延)が運行上の課題となっています。
駒生～平松～ 本郷台西汗・東汗線	<ul style="list-style-type: none"> ・本郷台西汗線は、補助系統となっています。(路線維持が課題となっています。) ・東汗線はここ数年、補助系統にはならず運行し、宇都宮市内の利用は多いですが、単独運行区間の利用は少ない状況となっています。

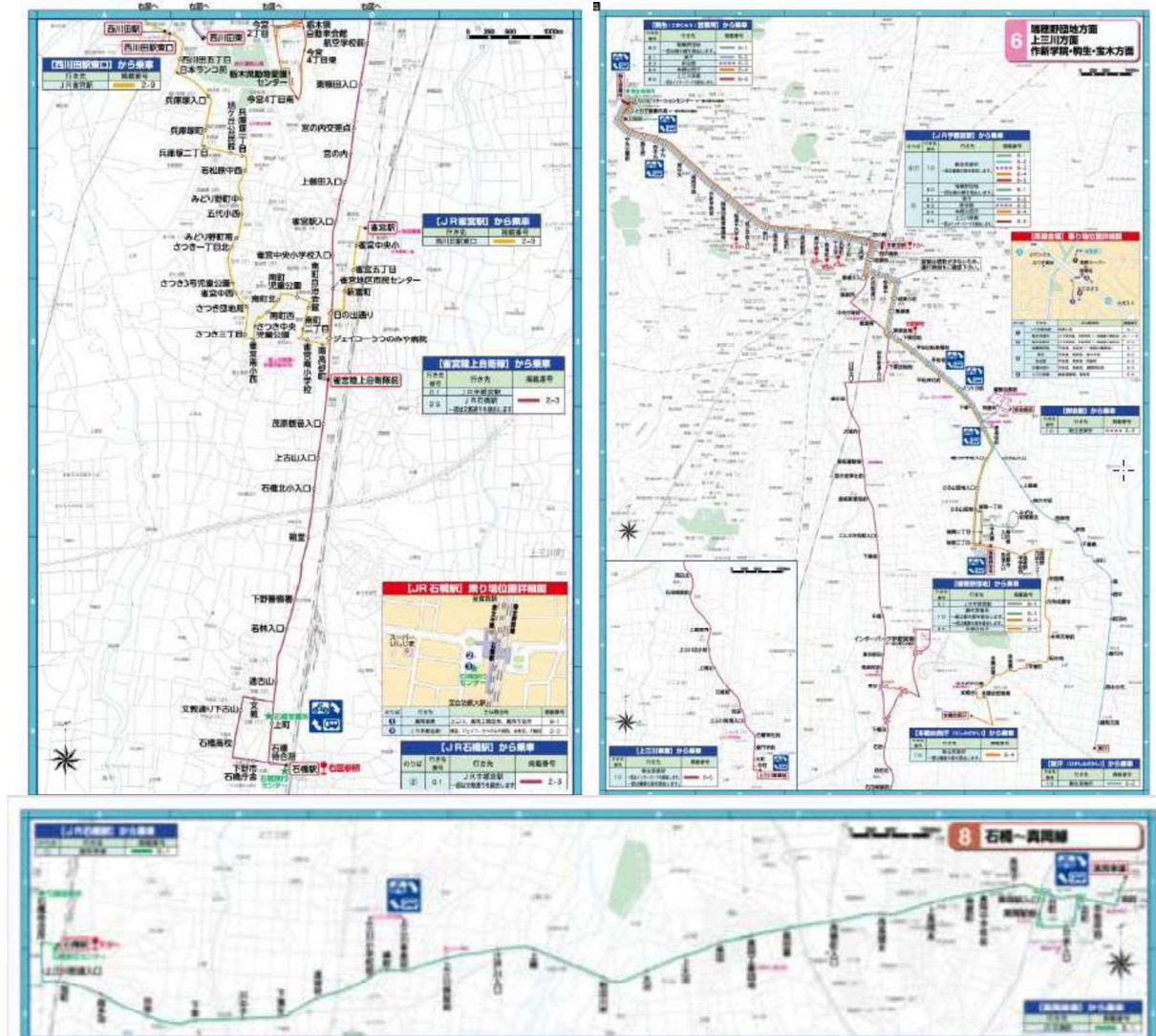


図4-2 路線図(路線バス)

出典「路線図一覧」(関東自動車HP公開資料)を元に作成

(2) - 1 輸送人員の推移

上三川町内を運行する路線バスの路線全線ごとの過去5年の輸送人員推移を見てみると、輸送人員に大きな変動はないことから、路線に対して、繰り返し利用する固定客が定着していると推測されます。また、石橋駅・真岡車庫線は利用者が増加している傾向があり、鉄道駅との連結に需要があることが考えられます。

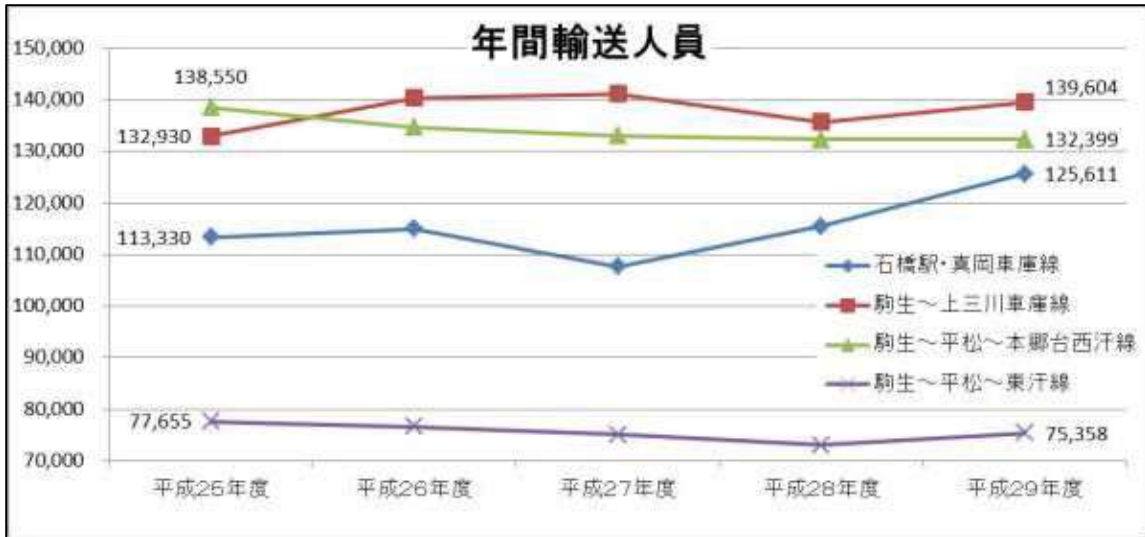


図4-3 路線バス輸送人員の推移 (データ提供：関東自動車㈱)

(2) - 2 路線バス補助金額の推移

上三川町で町民の方の日常生活に必要不可欠な交通手段としての乗合バス路線の維持確保を図るため、国や県と協議し補助金を交付しています。補助額の推移を見てみると若干減少している傾向が見えますが、ほぼ同額で推移しています。

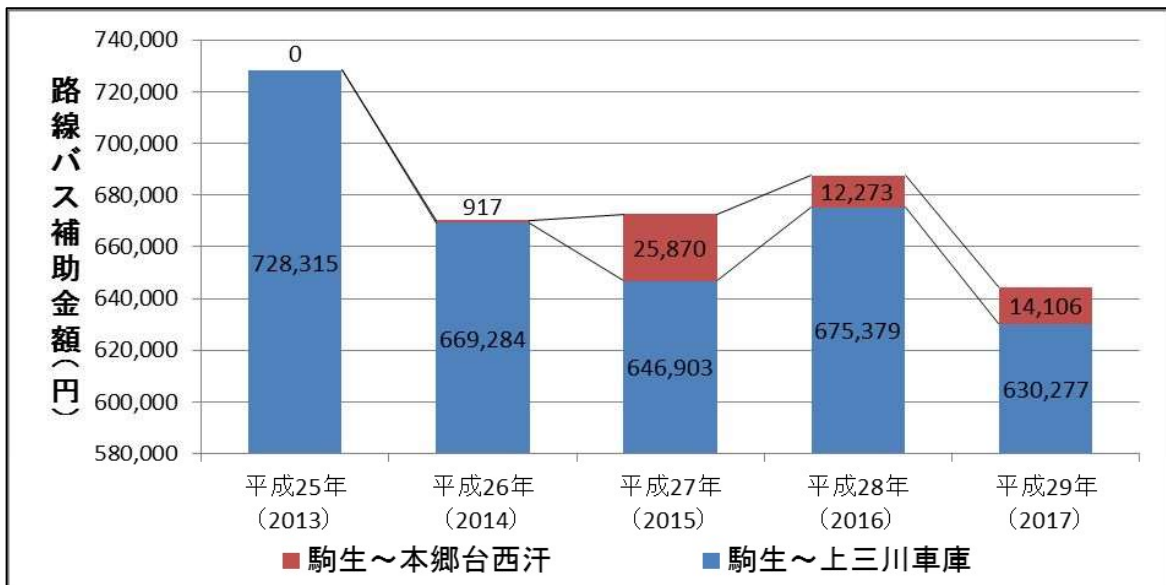


図4-4 路線バス補助金額の推移

(3) 鉄道の現況

(3) - 1 乗降人員の推移

上三川町近隣の鉄道駅の1日平均乗車人数の推移を見てみると、雀宮駅が平成23年度に橋上駅による東口の完成及び宇都宮工業高校の移転等により乗車人数が増加していますが、他の鉄道駅は毎年度ほぼ同数の利用者で推移しています。

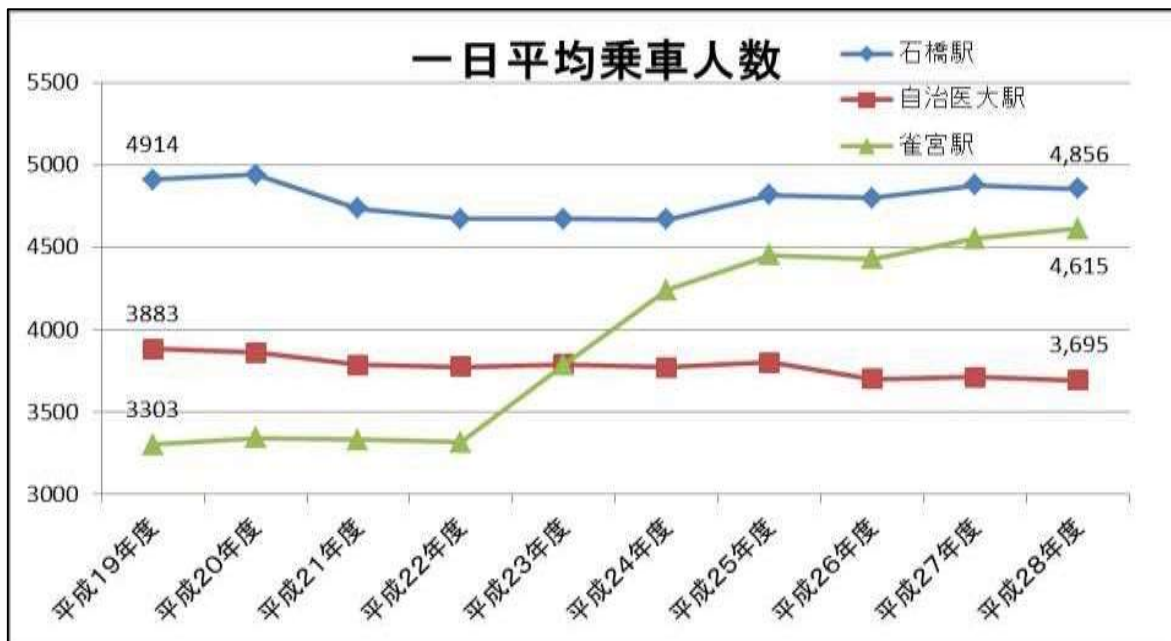


図4-5 鉄道駅一日平均乗車人数の推移

出典「各駅の乗車人員」(JR東日本HP公開資料)を元に作成



図4-6 鉄道駅位置図

(4) タクシーの現況

タクシーの輸送人員の推移を見てみると、近年は利用数が増加しています。

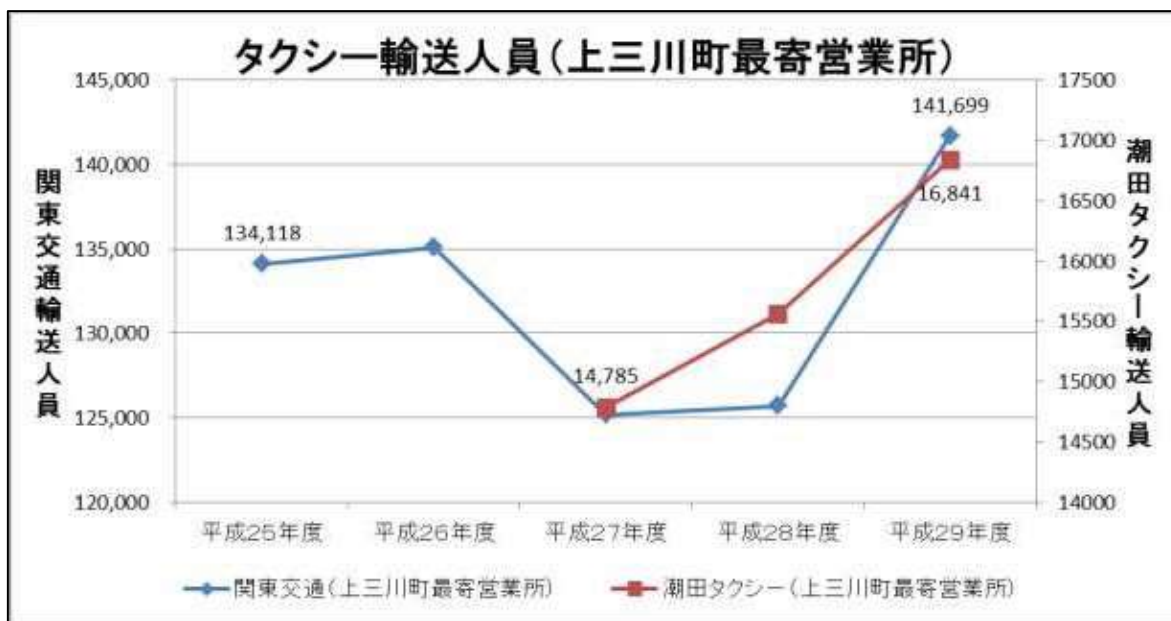


図4-7 タクシー輸送人員推移 (データ提供：関東交通㈱、潮田タクシー㈱)

(5) デマンド交通の現況

デマンド交通「かみたん号」の利用人数の推移を見てみると、大きな変動はありませんが、地区別に見てみると、明治地区の利用が増え、本郷地区の利用が減っています。



図4-8 デマンド交通利用者数推移 (地区別)

(5) - 1 デマンド交通の輸送人員の推移 (上三川地区) 利用者の年齢・目的地

70代・80代の利用が多く、次いで60代の利用が多くなっています。また、50代より40代の利用が多くなっています。上三川地区の特徴としては、高齢者を中心に利用されています。

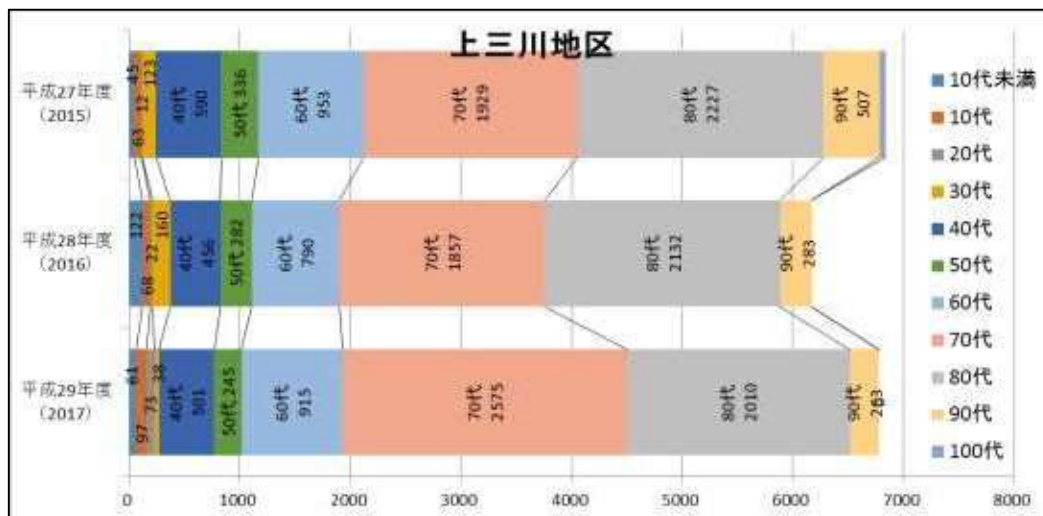


図4-9 上三川地区デマンド交通利用状況 (年齢)

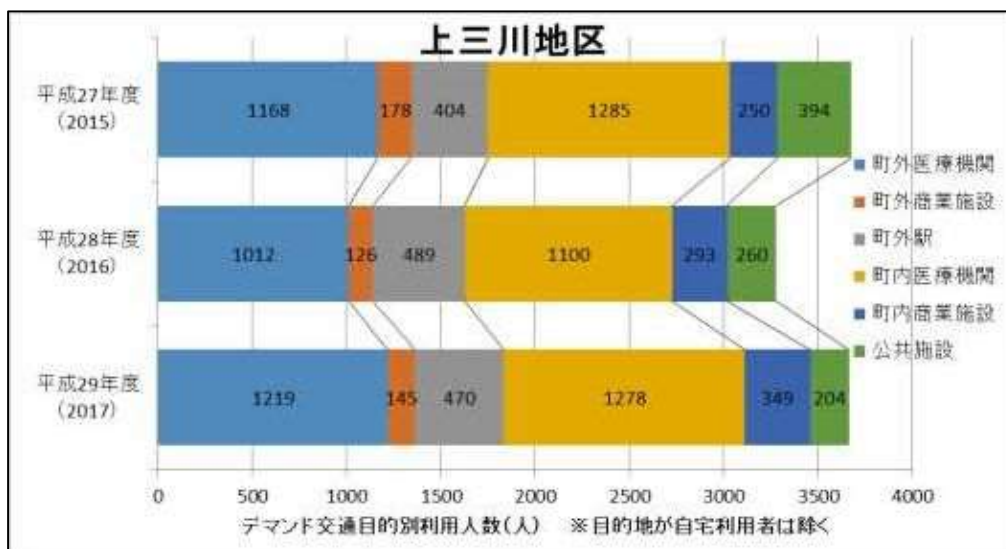


図4-10 上三川地区デマンド交通利用状況 (目的施設別)

平成29年度 目的地別 BEST10(上三川地区)			平成28年度 目的地別 BEST10(上三川地区)			平成27年度 目的地別 BEST10(上三川地区)		
順位	行き先別	人数	順位	行き先別	人数	順位	行き先別	人数
1	自治医科大学附属病院(町外)	570	1	自治医科大学附属病院(町外)	474	1	石橋総合病院(町外)	515
2	石橋総合病院(町外)	480	2	JR石橋駅東口	434	2	自治医科大学附属病院(町外)	506
3	JR石橋駅東口	415	3	石橋総合病院(町外)	404	3	倉持整形外科上三川	350
4	倉持整形外科上三川	323	4	倉持整形外科上三川	299	4	JR石橋駅東口	319
5	新上三川病院	207	5	新上三川病院	171	5	新上三川病院	281
6	うつのみや病院(町外)	169	6	上三川いきいきプラザ	169	6	上三川いきいきプラザ	270
7	やまだ脳神経外科クリニック	146	7	うつのみや病院(町外)	134	7	宇都宮社会保険病院(町外)	147
8	高倉整骨院	132	8	やまだ脳神経外科クリニック	123	8	FKDインターパーク店(町外)	147
9	FKDインターパーク店(町外)	125	9	高倉整骨院	108	9	高倉整骨院	136
10	せんば医院	109	10	FKDインターパーク店(町外)	104	10	やまだ脳神経外科クリニック	109

図4-11 上三川地区デマンド交通利用状況 (目的地: 上位10施設)

(5) - 2 デマンド交通の輸送人員の推移（本郷地区）利用者の年齢・目的地

80代の利用が多く、次いで70代の利用が多くなっています。本郷地区の特徴としては10代・40代・60代が300～400人程度利用しており、幅広い年代で利用されています。

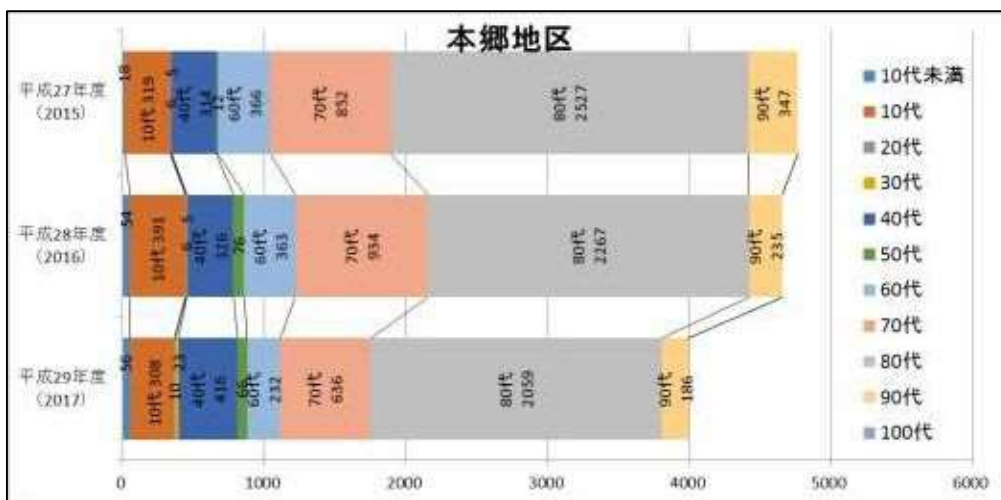


図4-12 本郷地区デマンド交通利用状況（年齢）

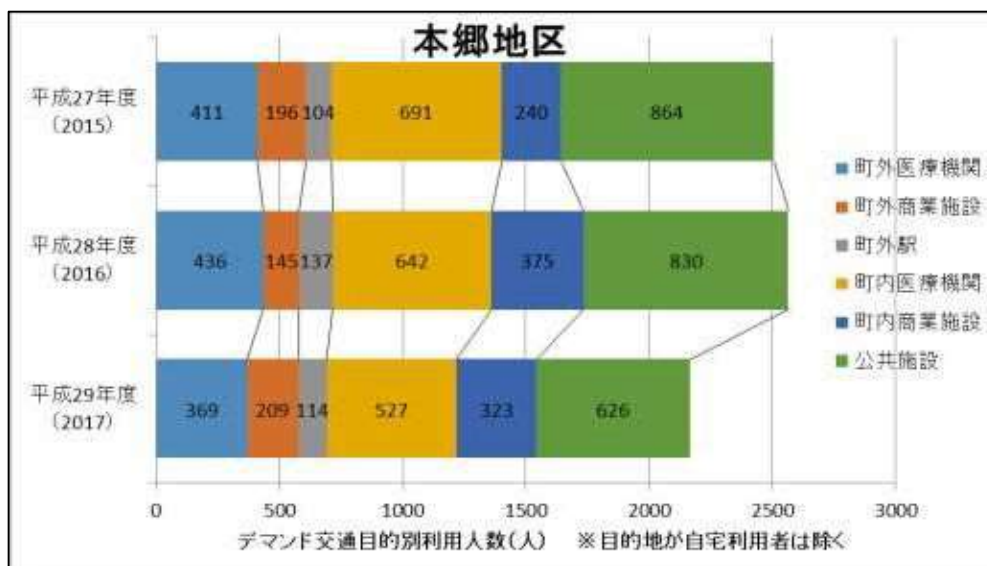


図4-13 本郷地区デマンド交通利用状況（目的施設別）

平成29年度 目的地別 BEST10(本郷地区)			平成28年度 目的地別 BEST10(本郷地区)			平成27年度 目的地別 BEST10(本郷地区)		
順位	行き先別	人数	順位	行き先別	人数	順位	行き先別	人数
1	上三川いきいきプラザ	228	1	上三川いきいきプラザ	336	1	上三川いきいきプラザ	439
2	FKDインターパーク店(町外)	176	2	上三川町役場	270	2	倉持整形外科上三川	283
3	新上三川病院	163	3	新上三川病院	218	3	上三川町役場	251
4	石橋総合病院(町外)	156	4	うつのみや病院(町外)	191	4	石橋総合病院(町外)	166
5	上三川ふれあいの家ひまわり	150	5	石橋総合病院(町外)	133	5	FKDインターパーク店(町外)	134
6	上三川町役場	126	6	自治医科大学附属病院(町外)	112	6	宇都宮社会保険病院(町外)	131
7	自治医科大学附属病院(町外)	117	7	FKDインターパーク店(町外)	102	7	新上三川病院	120
8	うつのみや病院(町外)	96	8	倉持整形外科上三川	101	8	自治医科大学附属病院(町外)	114
9	竹澤内科医院	72	9	上三川ふれあいの家ひまわり	92	9	上三川ふれあいの家ひまわり	90
10	JR石橋駅東口	69	10	ダンカラホール	70	10	竹澤内科医院	64

図4-14 本郷地区デマンド交通利用状況（目的地：上位10施設）

(5) - 3 デマンド交通の輸送人員の推移 (明治地区) 利用者の年齢・目的地

70代・80代の利用が多く、次いで50代の利用が多くなっています。明治地区の特徴としては、高齢者の利用が中心ですが、平成29年度から10代の利用者が増えています。

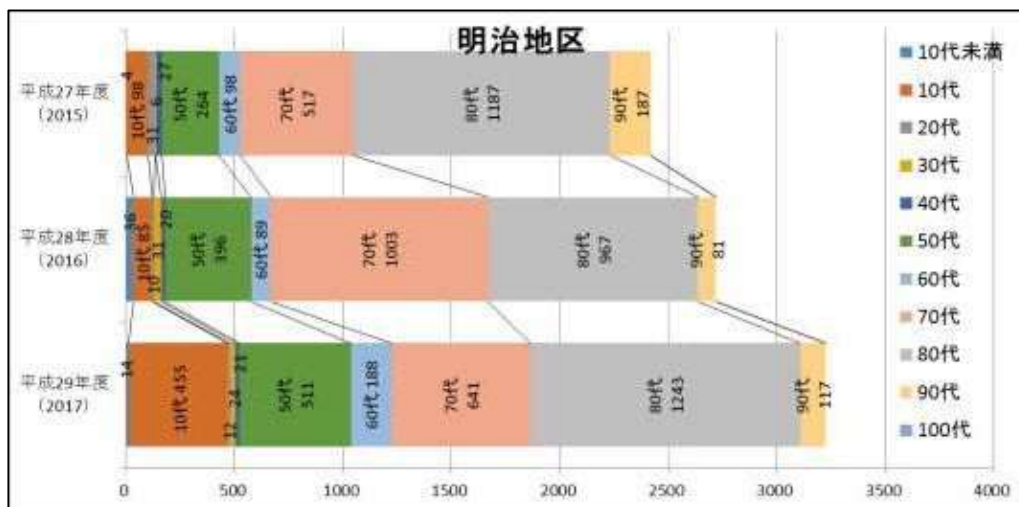


図4-15 明治地区デマンド交通利用状況 (年齢)



図4-16 明治地区デマンド交通利用状況 (目的施設別)

平成29年度 目的地別 BEST10(明治地区)			平成28年度 目的地別 BEST10(明治地区)			平成27年度 目的地別 BEST10(明治地区)		
順位	行き先別	人数	順位	行き先別	人数	順位	行き先別	人数
1	JR石橋駅東口	378	1	JR石橋駅東口	248	1	JR石橋駅東口	258
2	FKDインターパーク店(町外)	191	2	新上三川病院	184	2	新上三川病院	203
3	石橋総合病院(町外)	162	3	FKDインターパーク店(町外)	149	3	上三川いきいきプラザ	111
4	新上三川病院	113	4	上三川いきいきプラザ	147	4	FKDインターパーク店(町外)	103
5	自治医科大学附属病院(町外)	105	5	自治医科大学附属病院(町外)	102	5	自治医科大学附属病院(町外)	92
6	上三川いきいきプラザ	99	6	石橋総合病院(町外)	93	6	石橋総合病院(町外)	71
7	うつのみや病院(町外)	85	7	上三川町役場	47	7	上三川町役場	53
8	上三川ふれあいの家ひまわり	77	8	倉持整形外科上三川	41	8	ジョイフル本田	47
9	渡辺私塾(西汗)	72	9	上三川ふれあいの家ひまわり	41	9	上三川ふれあいの家ひまわり	45
10	上三川町体育センター	71	10	かましん石橋店(町外)	31	10	かましん石橋店(町外)	39

図4-17 明治地区デマンド交通利用状況 (目的地: 上位10施設)

(5) - 4 デマンド交通運行経費等の推移

近年のデマンド交通の運行経費の内訳を見てみると、町の負担額は増加しています。

運賃収入はほぼ横ばいで推移していますが、補助金額が減少しているため、町の負担額の増加に繋がっています。

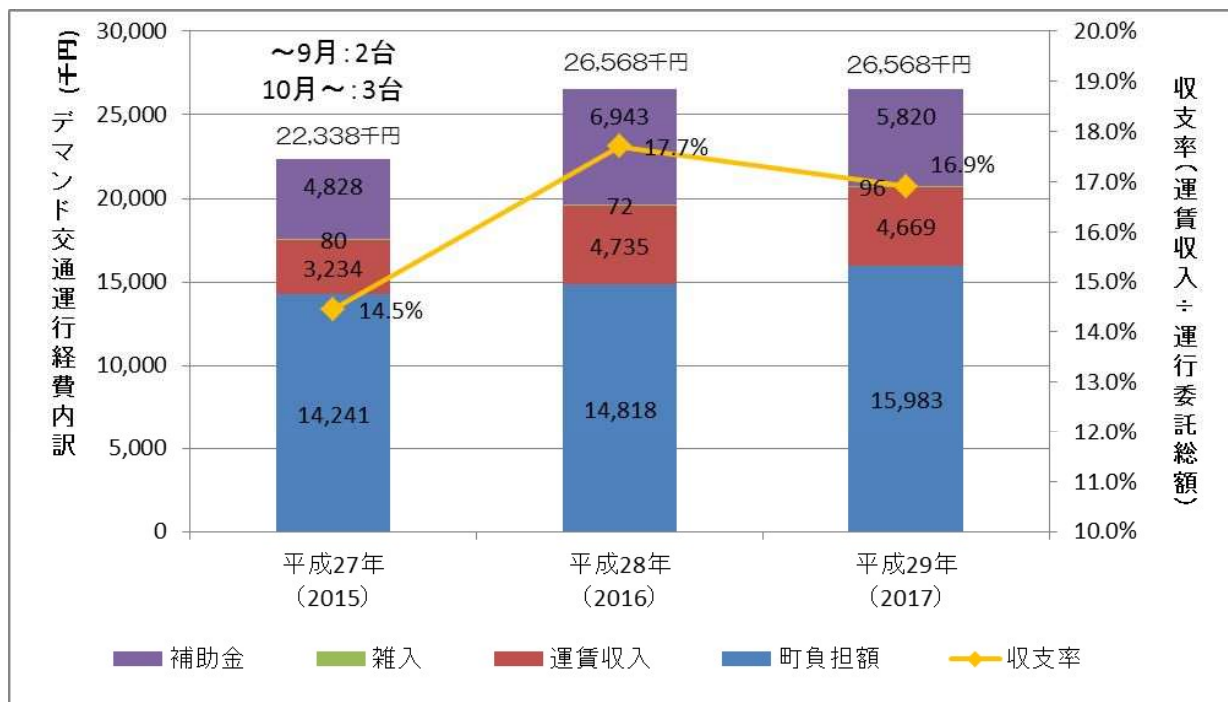


図4-18 デマンド交通運行経費等の推移

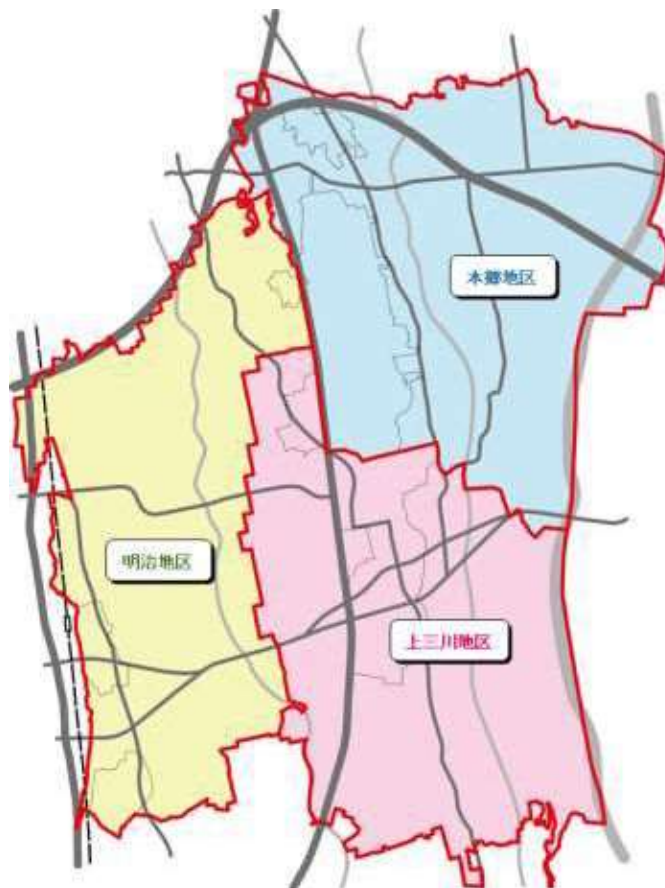


図4-19 上三川町地区区分図

2-5. 上三川町内の公共交通空白地帯

広域幹線として町外の拠点に連絡する鉄道駅は、上三川町西部にJR石橋駅があります。地域内幹線として、町内外の拠点間を連絡する民間バス路線は、石橋駅を拠点とし、真岡市方面に町内を横断連絡する石橋―真岡線や、石橋駅から国道4号線沿いを運行する石橋―宇都宮線、石橋駅から下野市の文教通り、壬生町の東武おもちゃのまち駅を經由し、獨協医科大学付属病院までを結ぶ、ゆーがおバス石橋―獨協線があります。

民間バス路線は、町中心部にもは、宇都宮駅と連絡する駒生―上三川車庫線、北東部にもは駒生―東汗線・本郷台西汗線がありますが、駅・バス停からのサービス圏域で見ると公共交通空白地域が多い状況でした。

平成25年3月から、町内全域を範囲としたドア to ドア方式のデマンド交通を導入し、町内どこからでもバス停留所や鉄道駅など地域拠点に接続できるようになったことにより、上三川町における公共交通空白地域は解消され、また、町内クリニックや近隣総合病院への通院、スーパーマーケットなどへの生活必需品の買い出し、児童生徒の塾通いなどの不便も解消しました。解消されています。

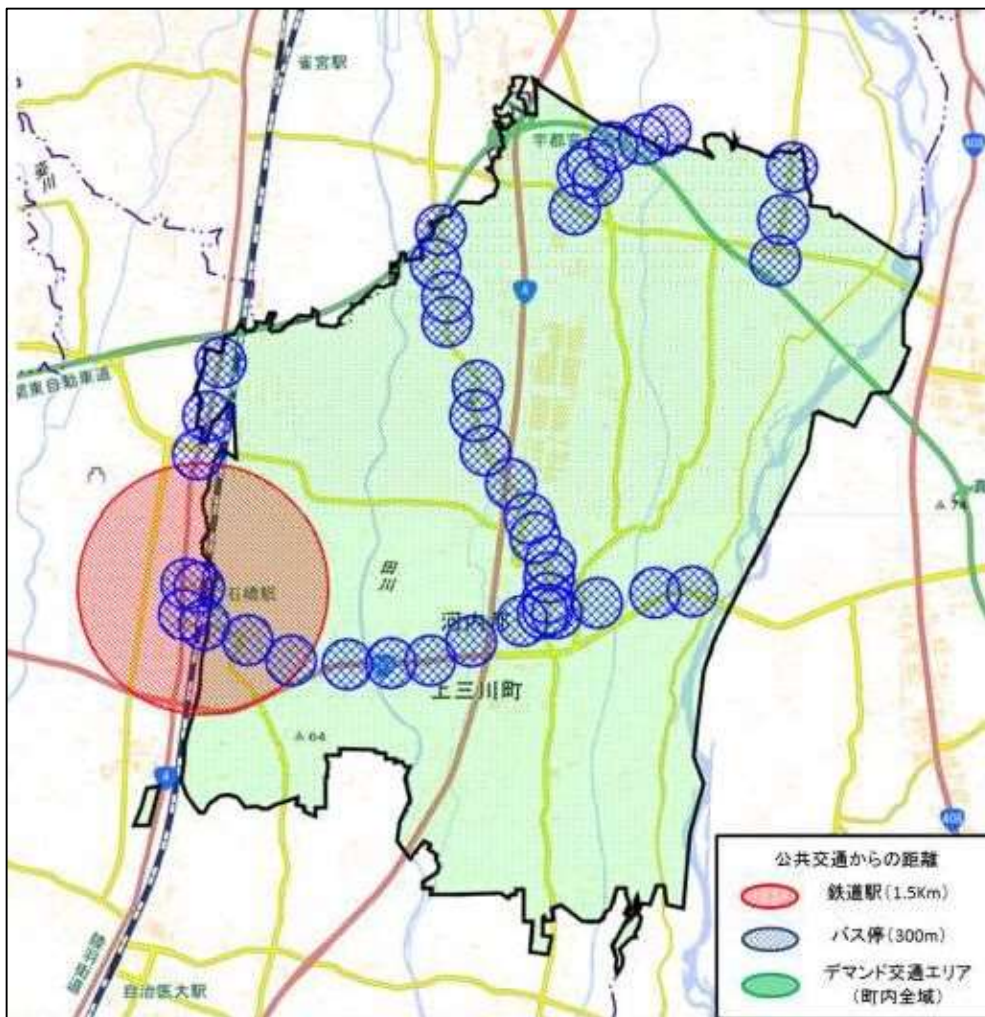


図5-1 上三川町の公共交通空白地

【鉄道駅・バス停のサービス圏域】

・鉄道については、駅までのアクセス時間が5分～15分（徒歩・自転車）の範囲である半径1.5kmを鉄道駅圏域として設定しています。

・バスについては、道路の移動円滑化ガイドライン等で歩行者が気軽に歩ける距離が200～400mとされていることを考慮し、バス停から半径300m圏域として設定しています。

※参考「とちぎの公共交通」

【デマンド交通】

・ドア to ドア方式で町内全域がサービス圏域のエリアとなっています。

3 地域公共交通の利用実態

3-1. 町民アンケート

公共交通に対する住民の意向を把握するため、アンケート調査を実施しました。

- ・ 調査対象者 公共交通を通勤・通学・日常生活で利用すると想定される15歳以上の町内在住者1,500人（上三川・本郷・明治各地区500人ずつ）
- ・ 配布数 1,500件（上三川・本郷・明治地区 500件ずつ）
- ・ 抽出方法 無作為抽出
- ・ 調査方法 郵送方法
- ・ 調査時期 平成30年2月
- ・ 調査地域 町内全域
- ・ 有効回収数 676票
- ・ 有効回収率 45.0%

（1）回答者の属性

回答者の男女比は男性41%、女性51%、年代別で見ると50～64歳が26%、65～74歳が19%、40～49歳・75歳以上が16%となっていますが、幅広い年齢から回答がありました。

また、居住地別（小学校区単位）では幅広い地区から回答があり、上三川地区・本郷地区・明治地区からほぼ均等に回答がありました。

職業別で見ると会社員・公務員28%、無職23%が多くなっていますが、徒歩・自転車以外の交通手段を利用して通学する機会が増える学生も6%と幅広い職業から回答がありました。

免許の有無で見ると85%の方が免許を持ち、自分用の自動車がある方が73%、いつでも使える家族共用車が11%で計84%となり、上三川町の免許保有者は、いつでも使える自動車等があるということが分かります。

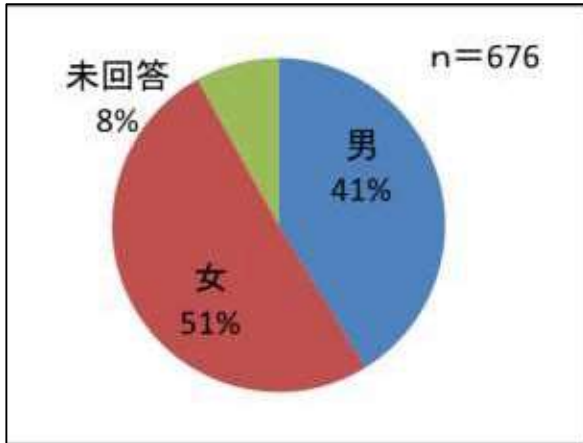


図 6 - 1 性別

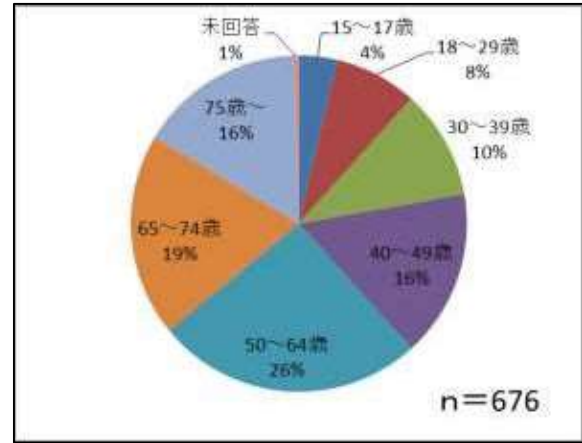


図 6 - 2 年齢別

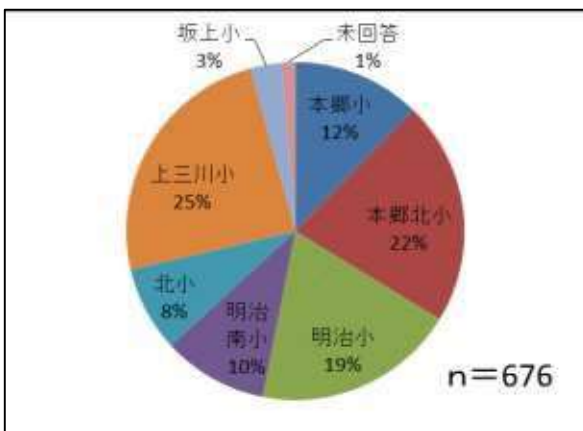


図 6 - 3 居住地区

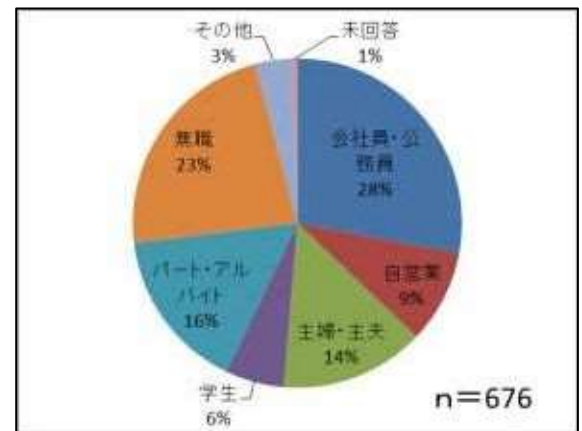


図 6 - 4 職業別

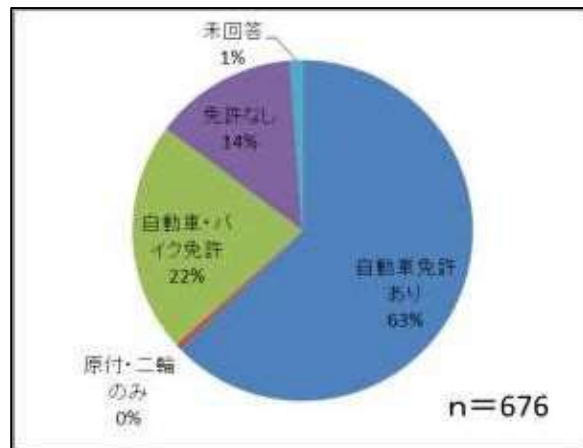


図 6 - 5 免許の有無

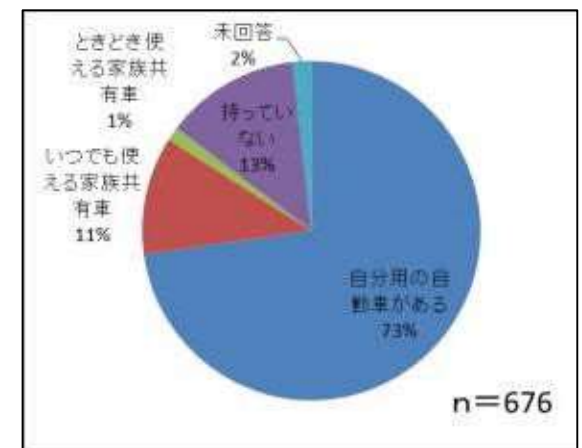


図 6 - 6 自動車等の所有

(2) 鉄道

鉄道を「よく利用する」、「時々利用する」と回答した人が30%、「ほとんど利用しない」、「まったく利用しない」と回答した人が67%でした。利用しないと回答した主な理由は、「自家用車の方が便利」が41%、「駅まで遠い」が16%となっています。その他の意見としては、「目的地が駅から遠いから利用しない」といったものがありました。

鉄道利用者がもっとも良く利用する駅は「石橋駅」72%、「雀宮駅」18%、「自治医大駅」が3%で、上三川町と西端で隣接している石橋駅の利用が一番多いことが分かりました。

また、最寄駅までの所要時間は「10～15分」が最も多く40%、続いて「15～30分」29%、「5～10分」22%となっており、駅が町内にないこともあり比較的時間がかかる傾向にあります。

鉄道を利用する理由としては、「時間が正確で早い」が28%、「自宅や目的地が駅に近い」が26%となっています。

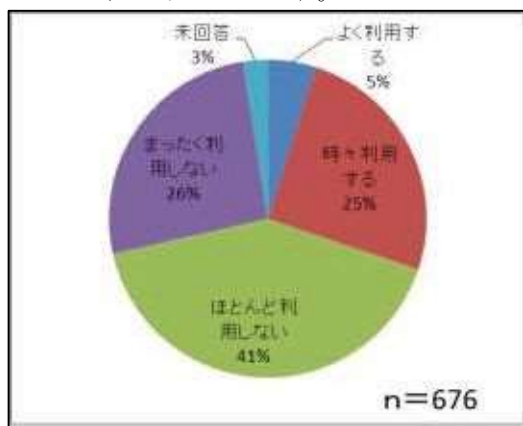


図6-7 鉄道利用

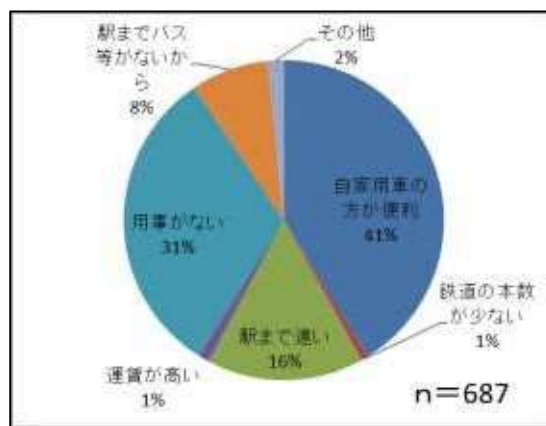


図6-8 利用しない理由（複数回答）

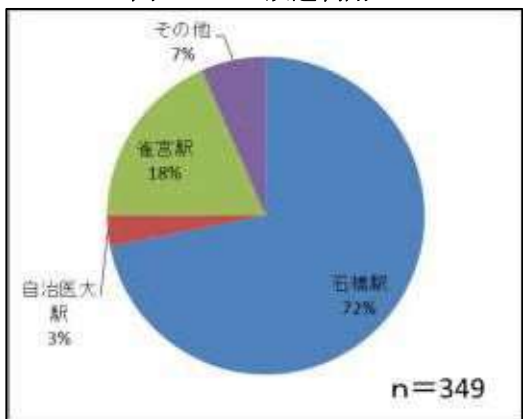


図6-9 よく使う駅

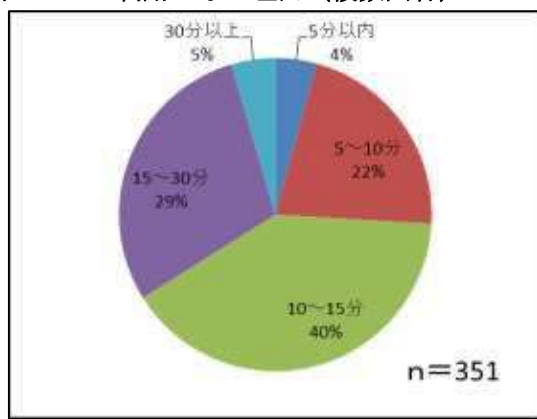


図6-10 自宅から最寄駅までの所用時間

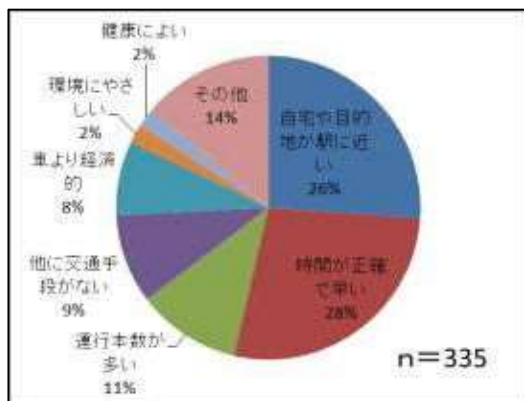


図6-11 鉄道を利用する理由

(3) バス

バスを「よく利用する」、「時々利用する」と回答した人が5%、「ほとんど利用しない」、「まったく利用しない」と回答した人が91%で、路線バスはあまり利用されていない状況が分かりました。

利用しないと回答した人達の主な理由は、「自家用車の方が便利」が48%、「バスが通っていない」、「運行本数が少ない」が11%となっております。その他の意見としては、「バス停がどこにあるか分からない」や「行き先が分からない」といったものがありました。

バス利用者が良く利用する停留所は「石橋駅」、「上三川小学校前」、「本郷台・ゆうがお公園」、で、目的地は「石橋駅」や「宇都宮駅・宇都宮市内」ということが分かりました。

また、バスを利用する人の理由としては、「自宅や目的地が駅に近い」が39%、次いで「他に交通手段がない（車や免許がない）」が25%となっています。

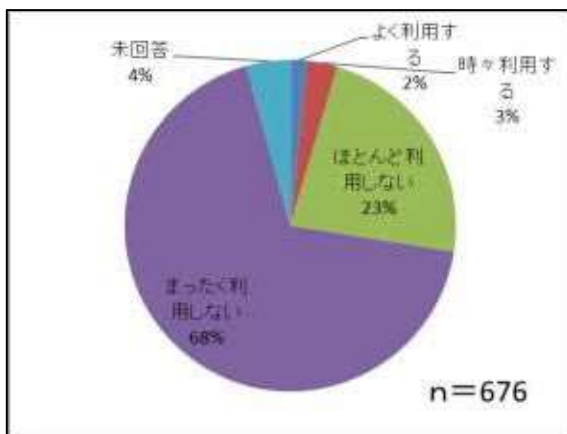


図6-12 バス利用状況

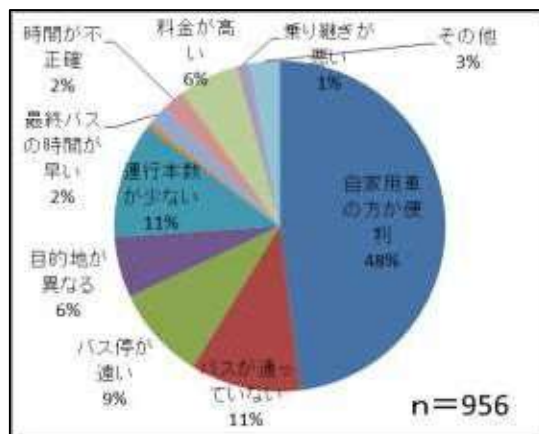


図6-13 バスを利用しない理由 (複数回答)

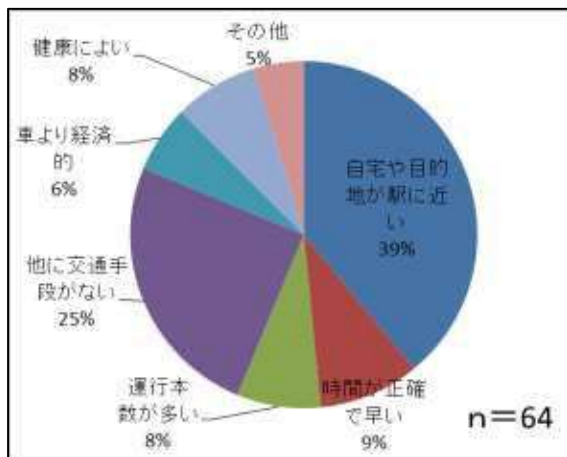


図6-14 バスを利用する理由

(4) デマンド交通

デマンド交通「かみたん号」を「よく利用する」、「時々利用する」と回答した人が5%、登録しているが「ほとんど利用しない」、「まったく利用しない」と回答した人が18%となっています。

また、利用者の感想としてはオペレーターの対応や運転手の対応、乗車中の安全性については、「満足」、「やや満足」の合計が半数を超え、利用者の満足度が高いことが分かります。一方、運行便数や運行区域、運賃など項目については満足度が低いことが分かります。

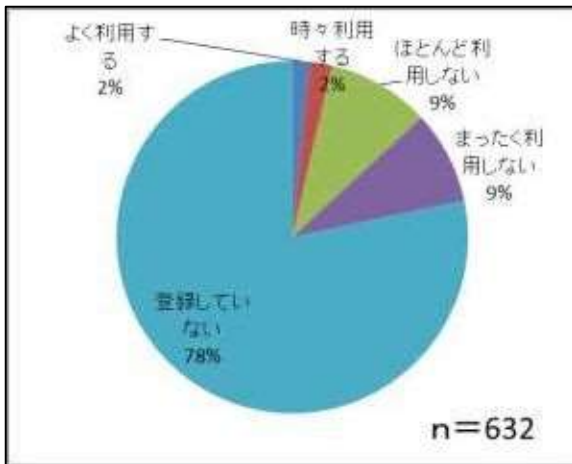


図6-15 デマンド利用状況

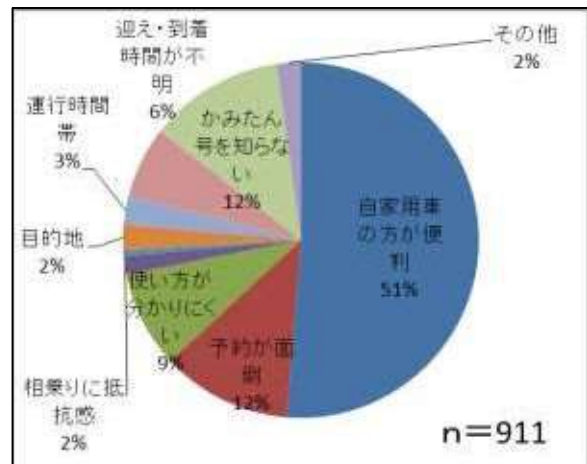


図6-16 デマンドを利用しない理由 (複数回答)

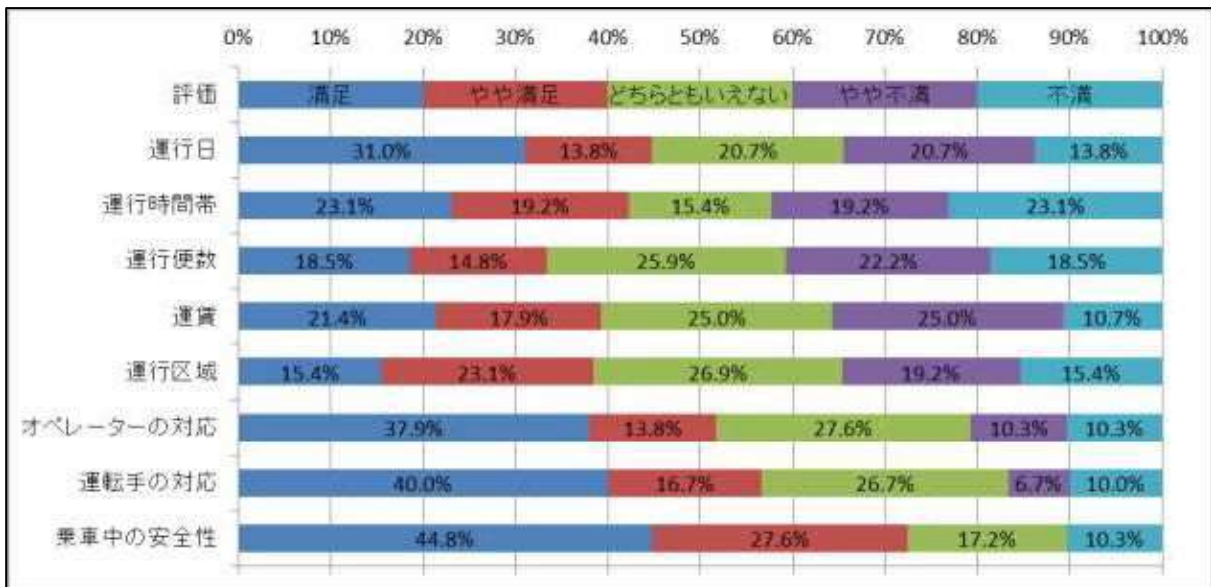


図6-17 デマンドを利用した感想

(5) 満足度

上三川町の公共交通に対する満足度について調査したところ、「どちらともいえない」を除き、「満足、やや満足」と回答した割合と「やや不満、不満」と回答した割合を比較したところ、「通勤・通学の移動」・「買物の移動」・「医療機関への移動」については「不満」の割合が多くなっていますが、「総合的な生活」では「満足」と回答した割合が多くなっています。

将来の生活に関する調査では、「ひとりで十分できる」と「ひとりでなんとかできる」を合計した84%の人が現在は「ひとりで外出できる」と回答していますが、10年後の不安については、「不安がある」、「少し不安がある」を合計した55%の人が何らかの「不安がある」と回答しています。

鉄道の満足度に関する調査では、全体的には「満足な点」の項目が多く、「運行時間の正確さ」や「目的地までの行きやすさ」、「目的地までの所要時間」については満足度が高くなっています。一方、「鉄道とバスの乗り継ぎ」については満足度が低くなっています。

バスの満足度に関する調査では、全体的には「不満足な点」の項目が多く、「運行本数」や「自宅とバス停の距離」についての満足度が低くなっています。

デマンド交通とバス交通については、半数以上の人が「将来、車を手放した際には必要になる」と回答しています。

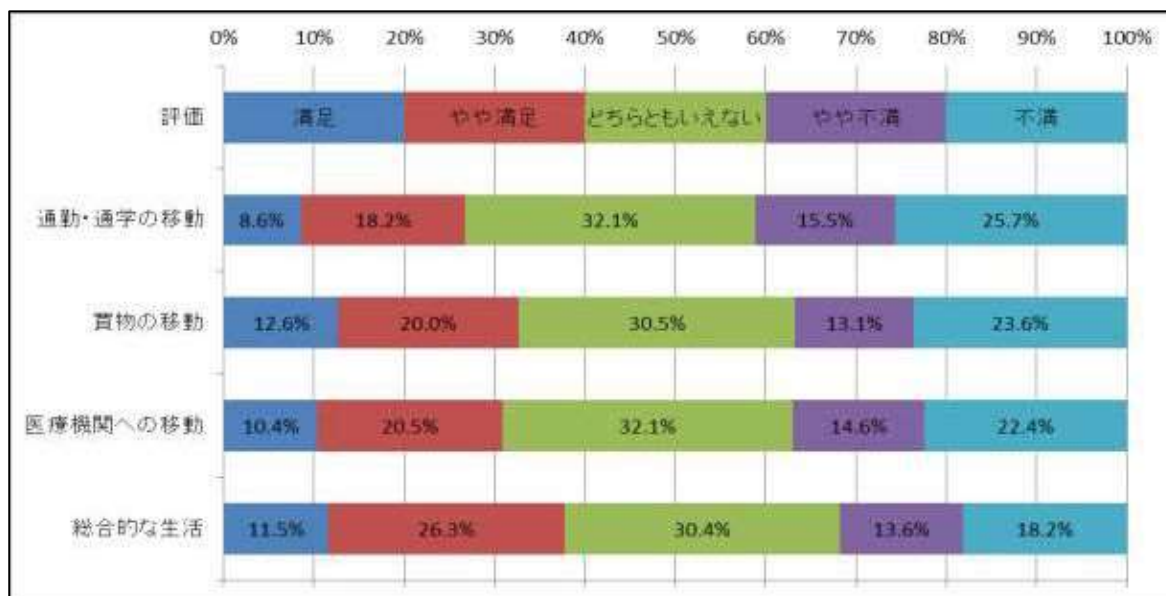


図6-18 上三川町の公共交通満足度

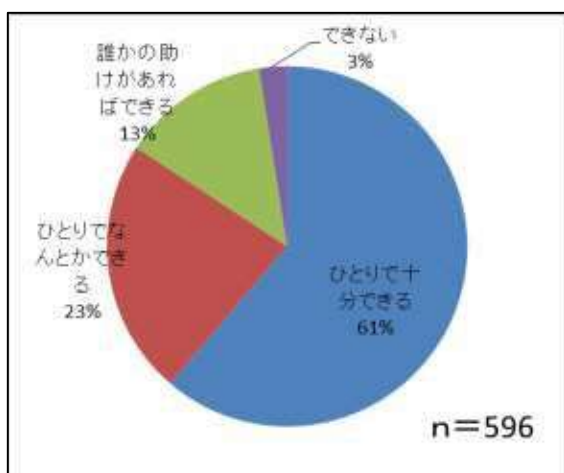


図6-19 現在の外出状況

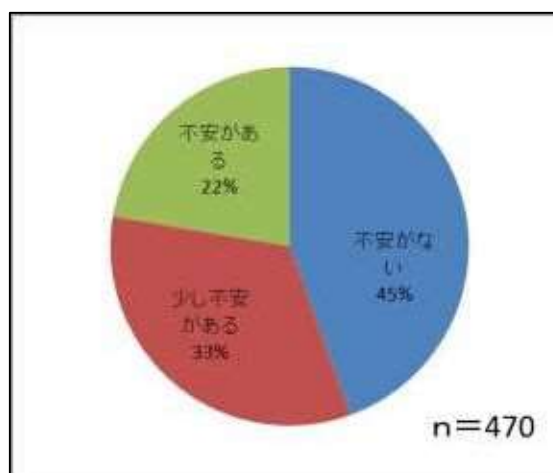


図6-20 10年後の不安

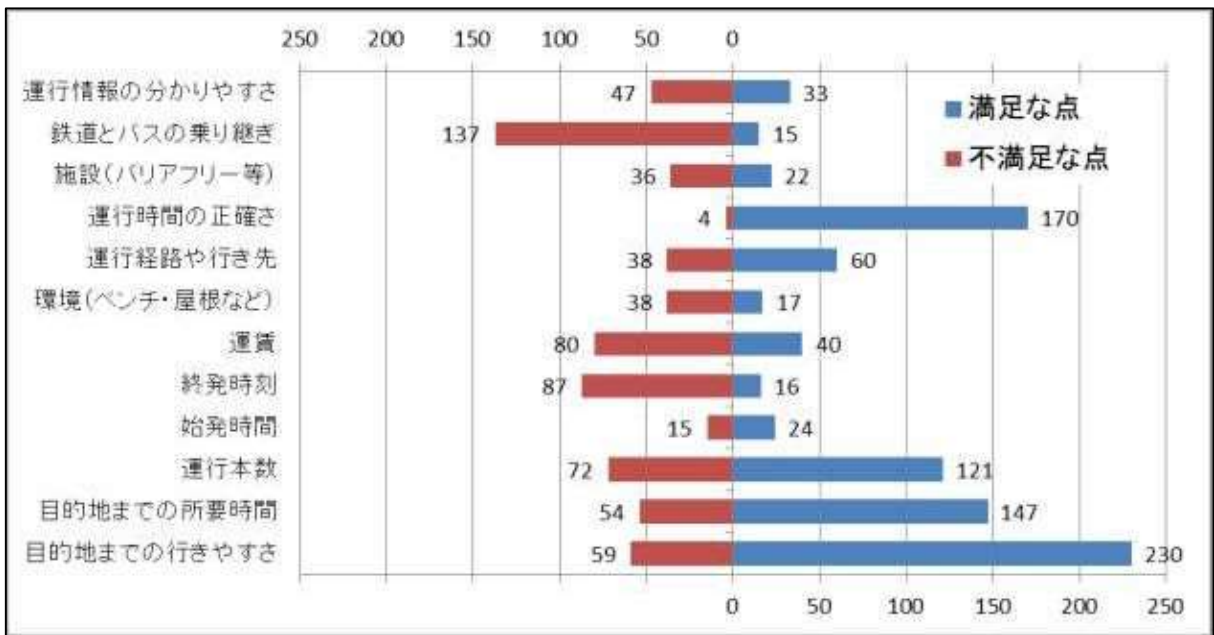


図6-21 鉄道に関する満足な点・不満足な点

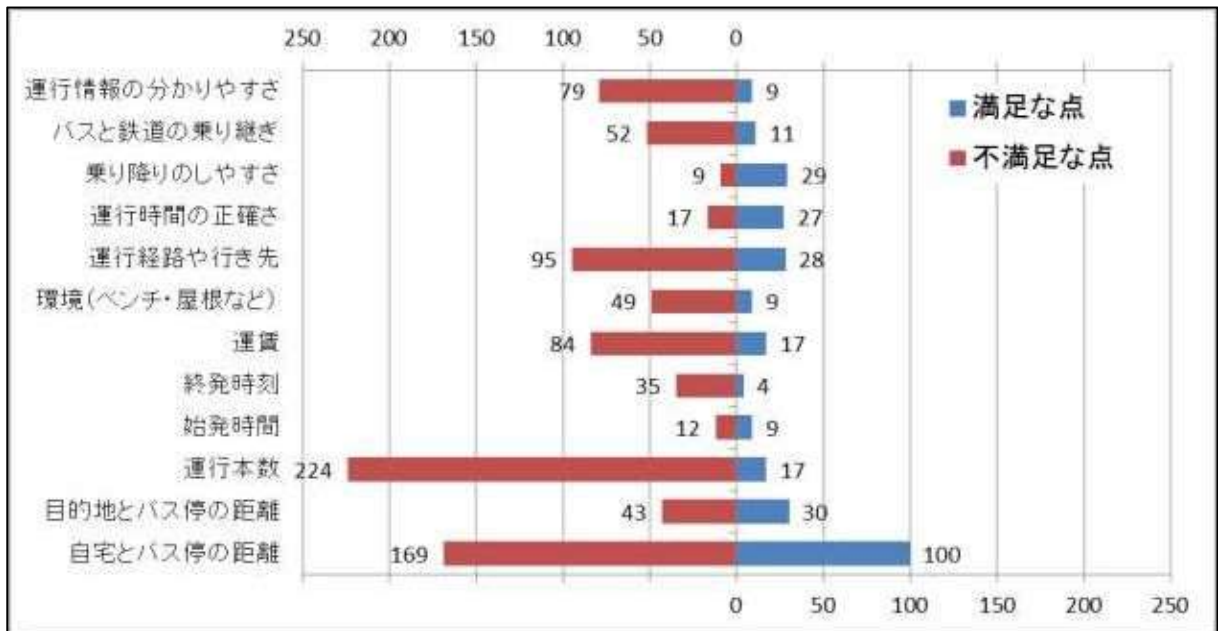


図6-22 バスに関する満足な点・不満足な点

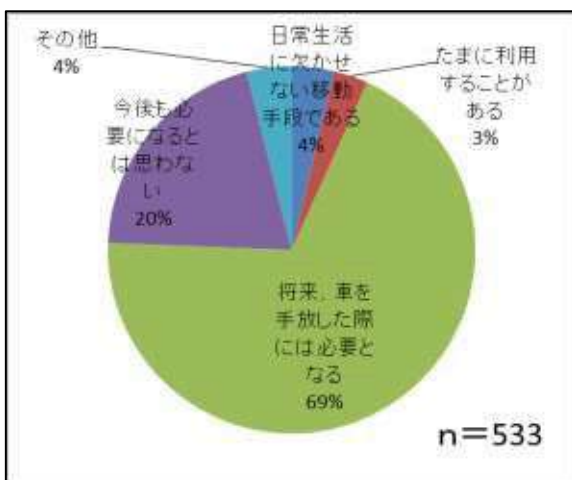


図6-23 あなたにとってデマンド交通とは
上三川町地域公共交通網形成計画 29

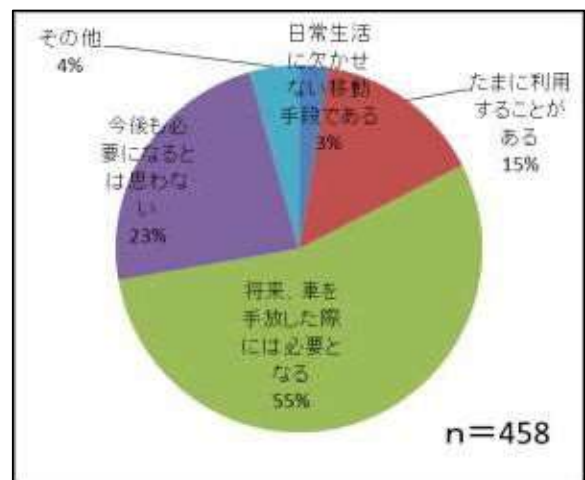


図6-24 あなたにとってバス交通とは

(6) よりよい公共交通にするために必要なもの

よりよい上三川町公共交通を構築していくために必要なものとして、「広域的な交通ネットワークの形成」や、「駅への接続」、「乗換拠点」といった町外への移動に関する項目が上位3位を占めており、次いで「分かりやすい公共交通の情報を提供する」項目があがり、施設整備や新たな路線といったハード面だけでなく、情報提供といったソフト面の整備についての要望も多くなっています。

順位	上三川町の公共交通をよりよくするために必要だと思う項目	回答数
1	上三川町の近隣市町と連携し、広域公共交通ネットワークを形成する。	182
2	駅への接続性を良くする。	169
3	乗換拠点を作り、バスとデマンド交通と鉄道が繋がるようにする。	139
4	分かりやすい公共交通の情報を提供する。	136
5	バス路線を増やす。	123
6	高齢者や障がい者の割引率を向上させる。	121
7	デマンド交通の運行時間を増やす。	101
8	バスの運行本数を増やす。	98
9	デマンド交通の台数を増やす。	83
10	乗換利便性を良くする(乗換しやすい駐車場。駐輪施設等の設置)	79
11	地域コミュニティと協力して、地域内交通を整備する。	66
12	バリアフリーを進める。	29
13	その他	20

表6-25

アンケート問6-6「今後、上三川町の公共交通をよりよくしていくためには、何が必要だと思いますか(最大3つまで回答)」の回答数

(7) 免許証返納者数

上三川町における運転免許証自主返納奨励事業の申請数は、平成26年度から増加し、平成29年度は過去最高の55件となっております。全国的に見ても免許証の自主返納数は平成24年度から増加し、平成29年度は42万3千件を超えております。

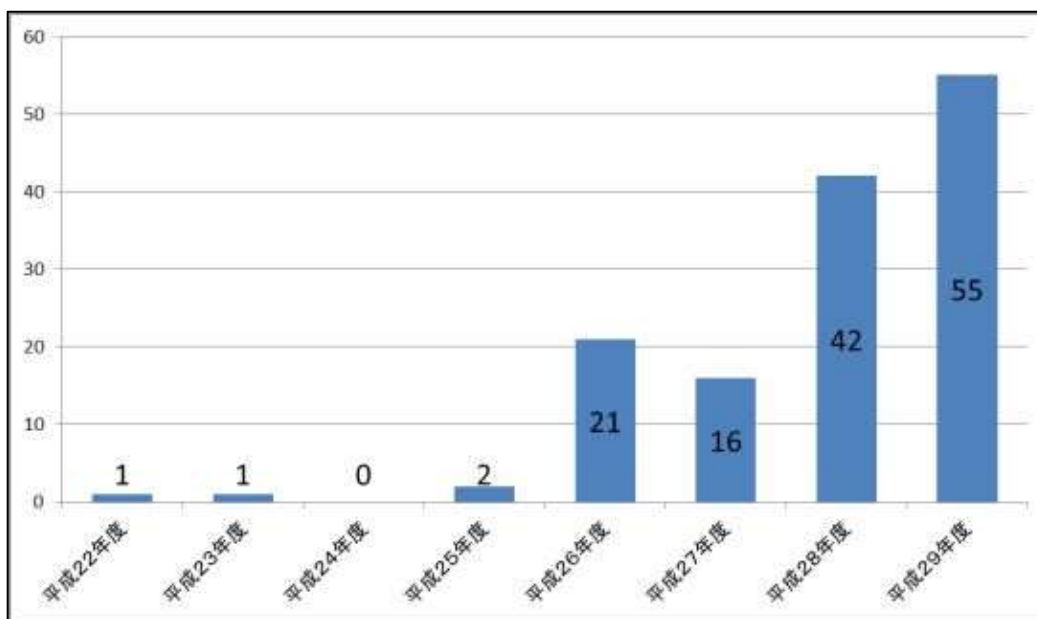


図7-1 上三川町運転免許証自主返納奨励事業申請数



図7-2 運転免許証の自主返納数(全国)

出典「運転免許証の自主返納と運転経歴証明書について」(警察庁 HP)

3-2. 事業者からの意見

(1) 医療機関

通院者は、自分の運転か家族の運転による自家用車の通院が主となっています。デマンド交通による通院も増えてきていますが、帰宅便については、診療が終わる時間が分からないことから利用がしにくくなっています。バスによる通院については、通院者の自宅付近や施設付近や路線バスが運行しておらず利用しにくくなっています。

(2) 福祉施設

保育所、学童クラブは自家用車や自転車による利用が多くなっています。通所型の障がい者施設では、自家用車や自転車に加え、施設所有のバスによる送迎を利用しています。

また、保育所では時間帯によって送迎が集中し、保護者が送迎後出勤するため交通機関を利用することは少なくなっています。

(3) 大型工場

従業員は自家用車による通勤が主となり、来訪者は鉄道駅からタクシーで来るが多くなっています。

路線バスが付近を運行しておらず、運行本数も少ないことから利用ができない状況となっています。

4 地域公共交通の課題

4-1. 町民の日常生活の利便性の確保

町民の日常生活の利便性を確保するために、外出の目的となっている町内の施設と周辺市街の施設との連絡を既存の交通手段を活用しながら、維持強化する必要があります。

4-2. 観光交流地域公共交通の確保

町内には観光交流資源がありますが、地域公共交通の利用によるアクセスが不十分な状況にあるためアクセス改善を図る必要があります。

4-3. 高齢者ニーズを踏まえた地域公共交通の見直し

自家用車の運転に不安を感じ、免許証を返納した高齢者が地域公共交通の主な利用者になると見込まれることから、こうした高齢者が利用しやすい交通手段の確保を検討する必要があります。

4-4. 地域公共交通の効率的な運行

地域公共交通維持に係る町の負担額は、今後も高齢化に伴い増加する可能性があることから、利用実態に対応した、持続可能な交通サービスのあり方を検討する必要があります。

4-5. 地域公共交通に対する関心と地域を挙げた取組の確保

地域公共交通が一部の利用者のみの問題としてとらえられているため、地域公共交通に係る情報の周知を徹底し、地域を挙げた取組を検討する必要があります。

5 上三川町地域公共交通網形成計画の基本方針

5-1. 計画期間

計画期間は、上三川町第7次総合計画の計画期間と併せ、平成30年度～平成37年度（2025年度）の8年間とし、平成33年度（2021年度）に中間目標、平成37年度（2025年度）に最終目標を設定します。なお、計画の期間内においても必要に応じて計画の見直しを行います。

5-2. 計画区域

上三川町全域



図8 上三川町の全域図

5-3. 基本方針

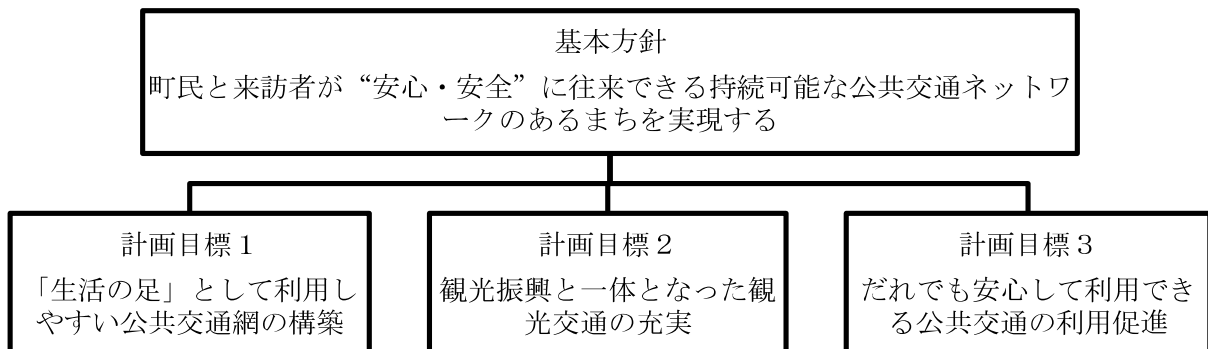
上三川町の交通の現状や高齢化社会の進行、上三川町第7次総合計画の基本理念である「1 “安心・安全”のまちづくり」、「2 “活力・交流”のまちづくり」、「3 “協働・自立”のまちづくり」を踏まえ、上三川町の目指すべき公共交通ネットワークの姿として基本方針を掲げます。

【基本方針】

～町民と来訪者が“安心・安全”に往来できる持続可能な公共交通ネットワークのあるまちを実現する～

5-4. 計画目標

基本方針を踏まえ、3つの計画目標を掲げます。



6 計画目標と計画事業

6-1. 計画目標

計画目標1 「生活の足」として利用しやすい公共交通網の構築

	項目	現状値 (2016)	中間目標 (2021)	最終目標値 (2025)
数値 目標 ①	公共交通機関の状況 (総合計画—まちの各環境に関する満足度—)	-2.55	0	プラス評価
	◆目標の設定理由 上三川町民の上三川町の総合的な公共交通に関する満足度を向上させるため			
	項目	現状値 (2017)	中間目標 (2021)	最終目標値 (2025)
数値 目標 ②	デマンド交通「かみたん号」の利用者数	13,996人	15,200人	15,200人 (維持)
	◆目標の設定理由 高齢者等の移動手段の確保や、町内の地域間での公共交通サービスの平準化による公共交通空白地の解消を図るため導入したデマンド交通「かみたん号」の利用者数を指標とすることにより、生活の足として利用しやすい公共交通の構築の指標として把握ができるため			
	項目	現状値 (2017)	中間目標 (2021)	最終目標値 (2025)
数値 目標 ③	デマンド交通「かみたん号」の運行収支率	16.9%	20.0%	20.0% (維持)
	◆目標の設定理由 生活の足としての「かみたん号」が持続可能な運行をしていくため			

計画目標2 観光振興と一体となった観光交通の充実

	項目	現状値 (2017)	中間目標 (2021)	最終目標値 (2025)
数値 目標 ④	交流人口(観光入込客数)	99,467人	100,000人	105,000人
	◆目標の設定理由 上三川町内の公共交通ネットワークを整備することにより、観光に町内を訪問する人の増加につながるため			

計画目標 3 だれでも安心して利用できる公共交通の利用促進

数値 目標	項 目	現状値 (2017)	中間目標 (2021)	最終目標値 (2025)
	⑤	運転免許証自主返納奨励事業申請数	55件	62件
◆目標の設定理由 安心して利用できる公共交通環境が整うことにより、運転免許を返納しても生活ができる安心なまちとして、運転免許証自主返納奨励事業の申請数の増加につながるため				
数値 目標	項 目	現状値 (2018)	中間目標 (2021)	最終目標値 (2025)
	町民の鉄道・バス・タクシー・デマンド交通 利用率	7.2%	8.5%	10.0%
◆目標の設定理由 鉄道やバス、タクシー、デマンド交通の公共交通としての利便性を高めるための利用促進策に取り組むことにより、現在の自家用車に依存したライフスタイルから公共交通を利用するライフスタイルへ移行するため				

6-2. 計画事業

計画目標 1 「生活の足」として利用しやすい公共交通網の構築

計画事業 1	デマンド交通運行形態の再検討							
事業概要	<p>地域内公共交通であるデマンド交通「かみたん号」の運行について、運行业務委託契約の更新に併せ、費用対効果を考慮した上でより効果的な運行が出来るよう見直します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運行時間や予約方法等の検討 ・ 効率のあがる運行方法の検討 ・ <u>家族形態の変容に伴う土曜日運行等の検討</u> 							
実施主体	<u>上三川町の委託により運行を行う交通事業者上三川町・デマンド交通事業者</u>							
実施スケジュール	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	見直し 検討	次期契約 締結 ・ 検証	検証	検証・ 見直し 検討	次期契約 締結 ・ 検証	検証	検証・ 見直し 検討	次期契約 締結 ・ 検証

デマンド交通かみたん号について

(1) 位置付け及び役割

町内の地域間での公共交通サービスの平準化による公共交通空白地の解消及び高齢者や自動車免許を持たない者等の移動手段の確保を図るため導入しました。

(2) 必要性

公共交通空白地の解消及び高齢者の通院から日用品の買い出し、学童の塾通いなど多くの世代にとって欠かせない移動手段となっており、運行の継続が不可欠です。一方で、町の運営努力だけでは運行の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。

(3) 利用者数・収支

前項参照

(4) 国県町の負担について

現在、財源となっている運賃収入、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金及び特別交付税に加え、収支率を20%以上とすることで市町村生活交通路線運行費補助金（県補助金）の採択を目指し、運行の持続可能性を高めます。

計画事業 2	バス・デマンド交通の乗継割引制度の導入							
事業概要	町内全域をカバーしているデマンド交通と近隣市町への交通手段となるバスなどの乗継割引制度を確立することにより、乗り継ぎへの抵抗感を軽減し、バスとデマンド交通の相互利用促進・利便性向上を図ります。							
実施主体	上三川町・公共交通事業者・近隣市町							
実施スケジュール	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	制度検討	制度導入	継続	継続 見直し	継続	継続	継続 見直し	継続

計画事業 3	<u>多様な交通モード・輸送資源の総動員の検討</u> 地域コミュニティにおける公共交通の意識醸成							
事業概要	<p><u>輸送量に限界のあるデマンド交通の利用者の増加等に対し、既存の移動資源の改善だけでなく、新たに多様な交通モード・輸送資源の活用の必要性及び導入の検討をおこない、コンパクト・プラス・ネットワーク（※）の実現に向け、拠点（中心市街及び石橋駅周辺）や医療機関、商業施設への移動や、拠点間の連携づくりを目指します。</u></p> <p>地域コミュニティ組織やNPO法人などの団体による、地域が主体となって自らの移動手段を確保するための地域共助型生活交通導入の検討を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通空白地有償運送 ・<u>デマンド交通かみたん号のお断り件数の把握</u> ・<u>変化する移動ニーズに応えられているか、アンケート等による調査</u> ・<u>既に運行している企業の送迎バスや、商店のシャトルバスなどの輸送資源が、公共交通の一つとして導入が可能かの調査研究</u> ・福祉有償運送 ・町補助制度 等の検討 <p><u>※ コンパクト・プラス・ネットワーク：人口減少・高齢化が進む中、都市に必要な機能を集約化（コンパクト）することで、医療・福祉・商業等の生活機能を確保するとともに、各拠点間を地域公共交通でつなぐ（ネットワーク）まちづくり</u></p>							
実施主体	上三川町・ 地域コミュニティ組織 ・ <u>NPO法人</u>							
実施	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度

スケジュール	導入可能 性調査	導入可能 性調査	導入可能 性調査 制度設計	導入可能 性調査 導入地域 調整	導入可能 性調査 実施	導入可能 性調査 継続 見直し	導入可能 性調査 継続 見直し	導入可能 性調査 継続 見直し	導入可能 性調査 継続 見直し
--------	-------------	-------------	---------------------	---------------------------	-------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

※令和4（2022）年6月改訂において、計画事業3「地域コミュニティにおける公共交通の意識醸成」としていたところ、より広い輸送資源の確保を検討できる内容に改めました。また、実施スケジュールにおいては、令和4年現在、現状の路線バス及びデマンド交通等により移動ニーズに一定程度応えられている現状から、令和4（2022）年「実施」としたスケジュールを令和7（2025）年「実施」に改めました。

計画目標 2 観光振興と一体となった観光交通の充実

計画事業 1	広域公共交通ネットワークシステムの構築							
事業概要	<p>石橋駅を拠点として、近隣市町との広域的な公共交通ネットワークを結ぶことにより、交流人口の増加や各公共交通との乗り継ぎによる観光交通の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域公共交通バスの導入検討 ・地域住民と共に地域に根付いた公共交通に育てるための内容検討 							
実施主体	上三川町・バス事業者・近隣市町							
実施 スケジュール	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	導入検討 ・調整	実証運行	継続 検証	継続 検証	本格運行	継続 検証	継続 検証	継続 検証

計画事業 2	観光資源へのアクセスの改善							
事業概要	<p>観光資源を活かしたまちづくりを支援するため、町内の主要な観光地へのアクセス手段を検討します。また、既存の公共交通と観光資源とのアクセスを再確認し、観光人口の増加を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町外観光者等の観光資源へのアクセス手段の検討 ・自転車や徒歩など健康づくりと絡めた観光の提供を検討 							
実施主体	上三川町・バス事業者・近隣市町							
実施 スケジュール	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	導入検討	導入検討	実施	継続	継続 見直し	継続	継続・ 見直し	継続

計画目標 3 だれでも安心して利用できる公共交通の利用促進

計画事業 1	上三川町近隣の公共交通MAPの作成及び更新							
事業概要	<p>自家用車から公共交通への利用移行及びバスを利用したことがない町民や観光客の利用促進のため、公共交通の運行概要やバス停・時刻表などを公共交通MAPにまとめ、分かりやすい情報案内の提供を行います。公共交通MAPの作成・配布にあたっては事業者をはじめ、地域住民の協力も得ながら、継続的な宣伝・PRによって公共交通の利用促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公共交通MAPの作成及びHPへの公開 ・スマートフォンにも対応した情報の公開 							
実施主体	上三川町・鉄道事業者・バス事業者・タクシー事業者・デマンド交通事業者 地域住民							
実施スケジュール	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	作成 ・配布	継続 更新	継続	継続 更新	継続	継続 更新	継続	継続 更新

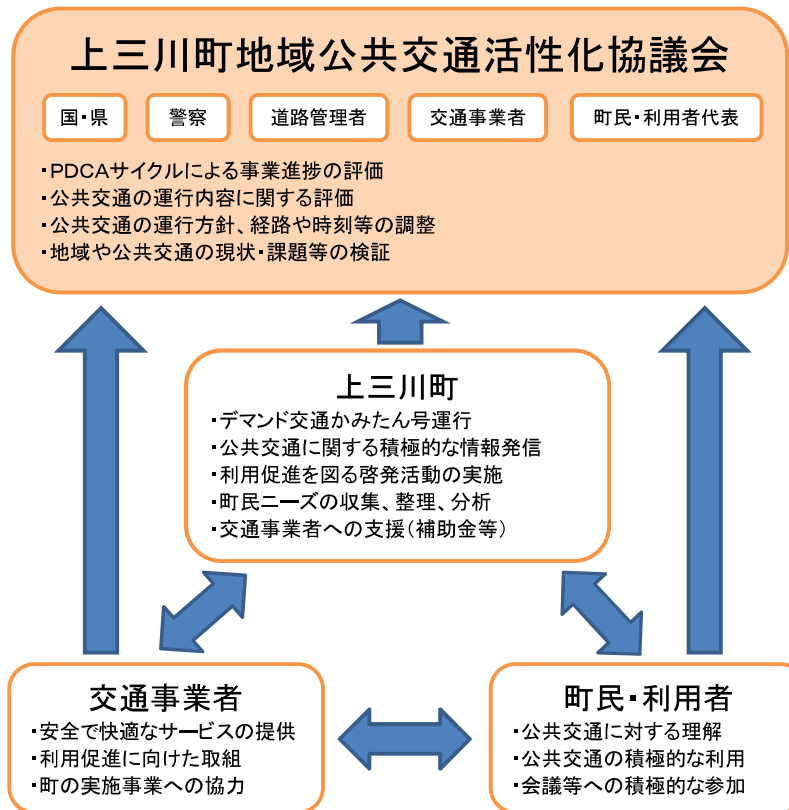
計画事業 2	運転免許証自主返納奨励事業の拡充							
事業概要	<p>高齢者の交通事故減少を目的として実施している運転免許証自主返納奨励事業について内容の検討を行い、免許の自主返納のさらなる促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許返納に対するインセンティブの内容検討 ・免許返納に対するインセンティブ付与の実施 							
実施主体	上三川町・公共交通事業者・警察							
実施スケジュール	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	実施	継続	継続	継続 見直し	継続	継続	継続	継続 見直し

計画事業 3	バス待ち環境の改善・整備							
事業概要	<p>利用者がバスを待ちやすい環境を整え、バス利用の促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が多いバス停などで、設置場所・道路環境を考慮の上、交通・道路管理者と協議して、バス停へのベンチ設置や自転車置き場などの設置を検討します。 ・バスの運行状況（現在位置など）を、スマートフォンやパソコンで確認できる「バスロケーションシステム」の周知、利用促進。 							
実施主体	上三川町・バス事業者・警察							
実施スケジュール	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	検討	調整	実施	継続	継続	継続	継続	継続

7 計画の推進

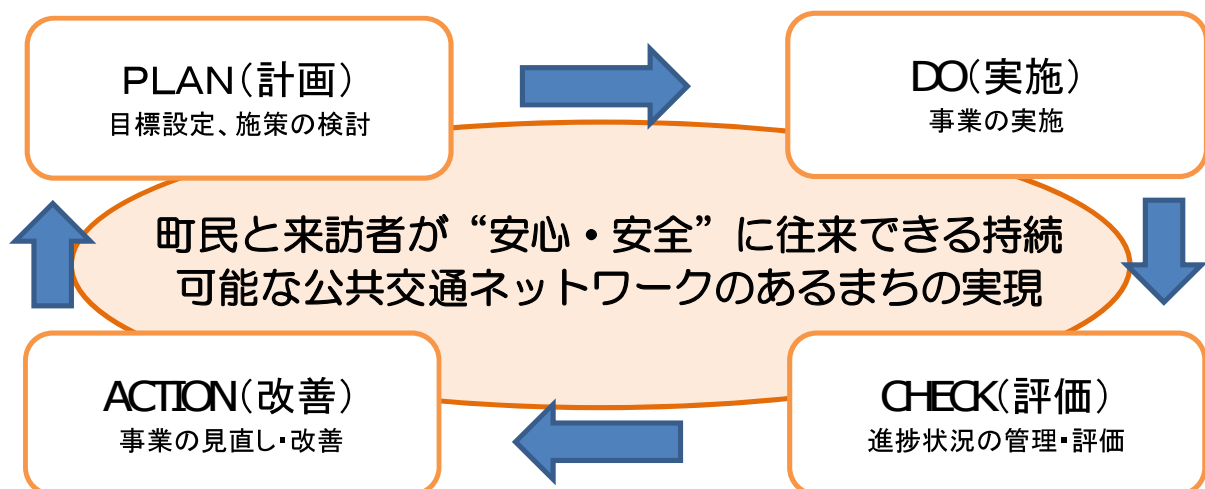
7-1. 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、国や県、町民、交通事業者など多くの関係機関との協力が必要であるため、役割分担を整理し、事業を実施します。



7-2. 計画の達成状況の評価

計画の達成状況については上三川町地域公共交通活性化協議会において施策の実施状況を毎年度整理し、実施の有無及びその要因を評価するとともに、計画の目標(数値目標)の達成状況の評価し、その要因を分析し、必要に応じて事業実施内容の見直し・改善を検討します。



上三川町地域公共交通 アンケート調査ご協力のお願い

町民の皆様には、日頃から町政に対しご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、上三川町ではよりよい公共交通を整備していくため、皆様のご意見
をお聞かせいただきたく、アンケート調査を実施します。

今回は、15歳以上の町内居住者の中から1,500人を抽出し、アンケート調
査票を送付させていただきました。(例年実施しているデマンド交通アンケート
から連続で調査対象となった方もおられると思いますが、ご容赦ください。)
お忙しいところ恐縮ですが、率直なご意見をお聞かせくださいますようよろし
くお願いします。

なお、このアンケートはすべて統計的に処理いたしますので、お答えいただ
いたことで、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。

平成30年1月

上三川町長 星野光利

記入上の注意

1. 今回お送りした封筒のあて名に記載したご本人がお答えください。
2. 回答は、(1つに○印)、と指定されていますので、お間違えのないよう、
お気をつけください。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例 ①.)
3. ご記入いただいた調査票は2月16日(金)までに同封の返信用
封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。
差出人は無記名で結構です。
4. この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。
上三川町役場 企画課 上三川町しらさぎ一丁目1番地
政策調整係 電話 0285(56)9118
FAX 0285(56)6868
E-mail kikaku01@town.kaminokawa.tochigi.jp

問1. あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

あなたの性別	1. 男 2. 女
あなたの年齢	1. 15～17歳 2. 18～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～64歳 6. 65～74歳 7. 75歳以上
居住地区 (お住まいの地域)	1. 本郷小地区 2. 本郷北小地区 3. 明治小地区 4. 明治南小地区 5. 北小地区 6. 上三川小地区 7. 坂上小地区
職業	1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 主婦・主夫 4. 学生 5. パート・アルバイト 6. 無職 7. その他
自動車等免許 の有無	1. 自動車免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. 自動車と原付・二輪の免許両方あり 4. 免許なし
自動車等(自動車、 原付、二輪)の所有	1. 自分専用の自動車等がある 2. いつでも使える家族共用の自動車等がある 3. 時々使える家族共用の自動車等がある 4. 持っていない

問2. 日常に関する外出についてお尋ねします。

あなたの普段の外出のうち、月に1～2日以上する移動について、頻度の多い順番に3つお答えください。(普段の移動とは、通勤・通学での自宅から勤務先への移動や、買物・通院・趣味などでの外出です。)

問2-1. 1番目の目的地

(1) 外出する目的(1つに○) 1. 通勤・通学 2. 通院 3. 買い物 4. 飲食 5. 趣味・娯楽 6. 業務 7. その他(_____)
(2) 外出先 1. 町内 大字名(_____) 2. 町外 市区町名(_____)
(3) 外出頻度(1つに○) 1. 週に5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月1～2日
(4) 行き・帰りの時間帯 1. 行き(午前・午後_____時ごろ自宅を出発) 2. (午前・午後_____時ごろ自宅に到着)
(5) 利用した交通手段(いくつでも) 1. 自分で運転する車 2. 家族等が運転する車 3. デマンド交通 4. タクシー 5. 路線バス 6. 鉄道 7. バイク・原付 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他(_____)

※問2-2. 2番目の目的地、問2-3. 3番目の目的地は次項へお進みください

問2-2. 2番目の目的地

(1) 外出する目的 (1つに○) 1. 通勤・通学 2. 通院 3. 買い物 4. 飲食 5. 趣味・娯楽 6. 業務 7. その他 (_____)
(2) 外出先 1. 町内 大字名 (_____) 2. 町外 市区町名 (_____)
(3) 外出頻度 (1つに○) 1. 週に5日以上 2. 週3~4日 3. 週1~2日 4. 月1~2日
(4) 行き・帰りの時間帯 1. 行き (午前・午後 _____ 時ごろ自宅を出発) 2. (午前・午後 _____ 時ごろ自宅に到着)
(5) 利用した交通手段 (いくつでも) 1. 自分で運転する車 2. 家族等が運転する車 3. デマンド交通 4. タクシー 5. 路線バス 6. 鉄道 7. バイク・原付 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他 (_____)

問2-3. 3番目の目的地

(1) 外出する目的 (1つに○) 1. 通勤・通学 2. 通院 3. 買い物 4. 飲食 5. 趣味・娯楽 6. 業務 7. その他 (_____)
(2) 外出先 1. 町内 大字名 (_____) 2. 町外 市区町名 (_____)
(3) 外出頻度 (1つに○) 1. 週に5日以上 2. 週3~4日 3. 週1~2日 4. 月1~2日
(4) 行き・帰りの時間帯 1. 行き (午前・午後 _____ 時ごろ自宅を出発) 2. (午前・午後 _____ 時ごろ自宅に到着)
(5) 利用した交通手段 (いくつでも) 1. 自分で運転する車 2. 家族等が運転する車 3. デマンド交通 4. タクシー 5. 路線バス 6. 鉄道 7. バイク・原付 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他 (_____)

問3. 鉄道の利用状況についてお尋ねします。

問3-1. 「鉄道」を利用されますか？ (1つに○印)

1. よく利用する 2. 時々利用する 3. ほとんど利用しない 4. まったく利用しない
「3. ほとんど利用しない」、「4. まったく利用しない」とお答えになった方は、利用していない理由を以下の中からお選びください。(最大3つまで○印)
1. 自家用車(原付・二輪を含む)での移動のほうが便利 2. 鉄道の本数が少ないから 3. 自宅から駅までの距離が遠いから 4. 鉄道の運賃が高いから 5. 利用する用事がないから 6. 自宅から駅までバスなどが運行していないから 7. その他 (_____)

※問3-2から問3-4は「1. よく利用する」、「2. 時々利用する」と回答されている方にお聞きします。

問3-2. 鉄道にお乗りになる駅で、最もよく使うのはどの駅ですか？（1つに○印）

1. 石橋駅 2. 自治医大駅 3. 雀宮駅 4. その他（_____）駅

問3-3. 自宅から最寄りの駅までの所要時間はどのくらいですか？（1つに○印）

1. 5分以内 2. 5～10分 3. 10分～15分 4. 15～30分 5. 30分以上

問3-4. 鉄道を利用する理由をお答えください。（最大3つまで○印）

1. 自宅や目的地が駅に近い 2. 時間が正確で早い 3. 運行本数が多い
4. 他に交通手段がない（車、免許等がない） 5. 車より経済的 6. 環境にやさしい
7. 健康によい（徒歩・自転車を利用するため） 8. その他（_____）

問4. 民間の路線バスの利用状況についてお尋ねします。

問4-1. 「民間の路線バス」を利用されますか？（1つに○印）

1. よく利用する 2. 時々利用する 3. ほとんど利用しない 4. まったく利用しない

「3. ほとんど利用しない」、「4. まったく利用しない」とお答えになった方は、利用していない理由を以下の中からお選びください。（最大3つまで○印）

1. 自家用車（原付・二輪を含む）での移動のほうが便利 2. バスが通っていない
3. バス停が遠い 4. 目的地が異なる 5. 運行本数が少ない 6. 始発の時間が遅い
7. 最終バスの時間が早い 8. 時間が不正確 9. 料金が高い
10. 他の交通機関への乗り継ぎが悪い 11. その他（_____）

※問4-2から問4-3は「1. よく利用する」、「2. 時々利用する」と回答されている方にお聞きます。

問4-2. 最もよく利用する停留所をお答えください。

1. 乗車停留所（自宅近く）（_____）停留所 記入例：（ 願成寺 ）停留所
2. 降車停留所（_____）停留所 記入例：（ 宇都宮駅 ）停留所

問4-3. 「民間の路線バス」を利用する理由を教えてください。（最大3つまで○印）

1. 自宅や目的地がバス停に近い 2. 時間が正確で早い 3. 運行本数が多い
4. 他に交通手段がない（車、免許等がない） 5. 車より経済的 6. 環境にやさしい
7. 健康によい（徒歩・自転車を利用するため） 8. その他（_____）

問5. デマンド交通かみたん号の利用状況についてお尋ねします。

問5-1. 「かみたん号」を利用されますか？（1つに○印）

1. よく利用する 2. 時々利用する
3. ほとんど利用しない 4. 登録したが利用していない 5. 登録していない

（次頁（右上）の設問につづく）

「3. ほとんど利用しない」、「4. 登録したが利用していない」、「5. 登録していない」とお答えになった方は、利用していない理由を以下の中からお選びください。(最大3つまで○印)

- | | |
|--|--|
| 1. 自家用車(原付・二輪を含む)での移動のほうが便利 | 3. 利用方法やルールが分かりづらい |
| 2. 予約しないと利用できないので面倒 | 5. 料金が安いから |
| 4. 他人と相乗りすることに抵抗を感じるから | 7. 乗りたい時間帯に運行していないから(時間帯_____) |
| 6. 行きたい目的地まで運行していないから(目的地_____) | 8. 乗合方式のため、迎えに来る時間や目的地に到着する時間を指定できないから |
| 7. 乗りたい時間帯に運行していないから(時間帯_____) | 9. かみたん号を知らない |
| 8. 乗合方式のため、迎えに来る時間や目的地に到着する時間を指定できないから | 10. その他(_____) |
| 9. かみたん号を知らない | |
| 10. その他(_____) | |

※問5-2から問5-3は「1. よく利用する」、「2. 時々利用する」と回答されている方にお聞きします。

問5-2. かみたん号をよく利用する時間・目的地をお答えください。

- | |
|---|
| (1) 乗車場所 1. 自宅 2. 病院 3. 店 4. 塾・習い事 5. その他(_____) |
| _____ 時便 (2) 降車場所 1. 自宅 2. 病院 3. 店 4. 塾・習い事 5. その他(_____) |

問5-3. かみたん号を利用した感想をお答えください。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足
運行日 (平日のみ 年末年始除く)	5	4	3	2	1
運行時間帯 (午前8時便～午後4時便)	5	4	3	2	1
運行便数 (1日9便、3台運行)	5	4	3	2	1
運賃 (大人町内300円、町外450円)	5	4	3	2	1
運行区域 (町内全域及び町外9施設)	5	4	3	2	1
電話オペレータの対応	5	4	3	2	1
運転手の対応	5	4	3	2	1
乗車中の安全性	5	4	3	2	1

問6 上三川町の公共交通に対する満足度や、将来の生活についてお尋ねします。

問6-1. 下記に関して、あなた自身の満足度をお答えください。(それぞれ1つに○印)

※該当しない項目は回答不要です。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足
通勤・通学の移動のしやすさ	5	4	3	2	1
買い物への移動のしやすさ	5	4	3	2	1
医療機関への移動のしやすさ	5	4	3	2	1
総合的な生活のしやすさ	5	4	3	2	1

問6-2. あなたの現在の外出状況および将来の不安についてお答えください。(1つに○印)

※将来は10年後、現在の住まいに生活していると仮定し、その時の家族構成、家族年齢等を踏まえお答えください。

〈現在の外出状況〉 1. ひとりで十分できる 2. ひとりでなんとかできる 3. 誰かの助けがあればできる 4. できない 〈将来(10年後)の不安〉 1. 不安がない 2. 少し不安がある(理由: _____) 3. 不安がある(理由: _____)			
--	--	--	--

問6-3. 鉄道に対する満足度について、満足している項目・不満な項目について、以下の選択肢群からお選びください。(最大3つまで)

満足している項目(3つまで)			
不満な項目(3つまで)			



〈選択肢群〉 1. 目的地までの行きやすさ 2. 目的地までの所要時間 3. 鉄道の運行本数 4. 鉄道の始発時刻 5. 鉄道の終発時刻 6. 鉄道の運賃 7. 鉄道の環境(ベンチ・屋根等) 8. 鉄道の運行経路や行先 9. 鉄道の運行時間の正確さ 10. 鉄道駅の施設(バリアフリー対応等) 11. 鉄道とバスの乗り継ぎ 12. 鉄道の運行情報のわかりやすさ			
--	--	--	--

問6-4. 上三川町のバスに対する満足度について、満足している項目・不満な項目について、以下の選択肢群からお選びください。(最大3つまで)

満足している項目(3つまで)			
不満な項目(3つまで)			



〈選択肢群〉 1. 自宅とバス停の距離 2. 目的地とバス停の距離 3. バスの運行本数 4. バスの始発時刻 5. バスの終発時刻 6. バスの運賃 7. バス停の環境(ベンチ・屋根等) 8. バスの運行経路や行先 9. バスの運行時間の正確さ(定時性) 10. バスへの乗降しやすさ(段差) 11. バスと鉄道の乗り継ぎ 12. バスの運行情報のわかりやすさ			
---	--	--	--

問6-5. あなたにとってデマンド交通、バス交通はどのような存在ですか。最もあてはまると思う番号をお選びください。(それぞれ1つ)

デマンド交通「かみたん号」		バス交通	
---------------	--	------	--



〈選択肢群〉 1. 日常生活に欠かせない移動手段である 2. 移動の目的や目的地によって、たまに利用することがある 3. 現在は必要としていないが、将来クルマを手放した際には必要となる 4. 現在は必要としておらず、今後も必要になるとは思わない 5. その他(_____)			
---	--	--	--

問6-6. 今後、上三川町の公共交通をよりよくしていくためには、何が重要だと思いますか？
あなたが考えに当てはまるものをお選びください。（最大3つまで○印）

- 1. バスの運行本数を増やす
- 2. バス路線を増やす
- 3. デマンド交通の運行時間を増やす
- 4. デマンド交通の台数を増やす
- 5. バリアフリーを進める
- 6. 駅への接続性を良くする
- 7. 上三川町の近隣市町と連携し、広域公共交通ネットワークを形成する
- 8. 乗換拠点を作り、バスとデマンド交通と鉄道が繋がるようにする
- 9. 高齢者や障がい者の割引率を向上させる
- 10. 乗換え利便性を良くする（乗換えしやすい駐車場・駐輪施設等の設置）
- 11. 地域コミュニティと協力して、地域内交通を整備する
- 12. わかりやすい公共交通の情報を提供する
- 13. その他（ _____ ）

問7 上三川町公共交通についてご意見、ご要望等ございましたらご自由にお書きください。
（自由記述）

〈自由意見欄〉

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は **2月16日（金）** までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。